付録1. ユーティティ機能

ユーティリティは、GOTと接続機器との接続、画面表示の設定、操作方法の設定、プログラム/データ 管理、自己診断などを行うための機能です。

1) ユーティティ機能の実行について

ユーティリティを実行するためには、BootOS、基本機能 OS を C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) に インストールしてユーティリティを表示させる必要があります。

BootOS, 基本機能 OS のインストール方法には、以下の3通りがあります。



2) ユーティリティ機能一覧

ユーティリティの各画面で設定・操作できる内容は下記のとおりです。

(O : 対応, △ : 一部非対応, × : 非対応)

項目			機能概要	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
		時間に関する設定	時計の現在時刻を表示 / 設定	0	0
		トランスペアレント モードの設定	FA トランスペアレント機能使用時の.通信対象のチャンネル No.の設定	0	0
		画面掃除	表示部を掃除するための画面を表示	0	0
	GOT 本体機能	ビデオ・RGB の設 定	ビデオ・RGB 入出力ユニットの設定を行う画 面を表示	0	0
	設定	マルチメディアの設 定	マルチメディアの設定を行う画面を表示	△*1	0
		ライセンス ^{管理}	ライセンス登録,解除を行う画面を表示	×	0
		IP 重複時の動作設定	GOT と同じ IP アドレスの機器が、後から ネットワークに参加してきた場合の、GOT の 動作を設定	×	0
		•	メッセージ言語切換え	0	0
本体機能 設定			タイトル表示時間 / スクリーンセーブ時間の 設定	0	0
	表示に関する設定		スクリーンセーブ時バックライト ON/OFF の 設定	0	0
			バッテリ低下アラーム出力 ON/OFF の設定	0	0
			人感センサの検出感度 / 監視時間の設定	0	0
			輝度・コントラストの調整	0	0
			ブザー音 / ウィンドウ移動時のブザー音の設 定	0	0
			キー感度 / 反応速度の設定	0	0
	操作に関する設定		タッチ検出モードの設定	0	0
			セキュリティレベルの変更	0	0
			ユーティリティ呼び出しキーの設定	0	0
			タッチパネルの調整	0	0
			USB マウス / キーボードの設定	×	0
			SoftGOT-GOT リンク機能の設定	×	0
			VNC [®] サーバ機能の設定	×	0
		メンテナンス 時期通知	バックライト / 表示部のメンテナンス通知時 間の設定, タッチキー / 内蔵フラッシュメモ リのメンテナンス通知回数の設定	0	0
	GOT メンテナンス 機能	積算値リセット	メンテナンス時期通知のために積算していた 時間 / 回数をリセット	0	0
	1152 FE	GOT 起動時間	GOT を起動した日時,現在時刻,現在までの 運転時間の表示	0	0
		GOT 情報	GOT の情報の表示	×	0

項目			機能概要	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
			通信インタフェースへのチャンネル番号設定 と通信ドライバの割付	0	0
接続機器 設定	接続機器設定	接続機器設定	通信パラメータの設定,シーケンスプログラ ム保護用キーワード設定 / 削除 / 保護状態解 除 (FXCPU 接続時)	0	0
		Ethernet 設定	Ethernet 設定の設定内容の表示,自局の変更	×	0
		システムモニタ	システムモニタの起動	0	0
		回路モニタ	回路モニタの起動	0	0
		ネットワークモニタ	ネットワークモニタの起動	0	0
		インテリジェントユ ニットモニタ	インテリジェントユニットモニタの起動	0	0
		サーボアンプモニタ	サーボアンプモニタの起動	0	0
		モーションモニタ	モーションモニタの起動	0	0
		CNC モニタ	CNC モニタの起動	0	0
	各種モニタ1	FX リスト編集	FX リスト編集の起動	0	0
		A リスト編集	A リスト編集の起動	0	0
		SFC モニタ	SFC モニタの起動	0	0
		ラダー編集	ラダー編集の起動	0	0
		MELSEC-L トラブ ルシュート	MELSEC-L トラブルシュートの起動	×	0
		モーション SFC モ ニタ	モーション SFC モニタの起動	×	0
		ログビューア	ログビューアの起動	×	0
保全機能	各種モニタ2	モーションプログラ ム (SV43) 編集	モーションプログラム (SV43) 編集の起動	×	0
		CNC 加工プログラ ム編集	CNC 加工プログラム編集の起動	×	0
		Q/L/QnA 回路モニ タの設定	MELSEC-Q/L/QnA 回路モニタ機能用のデー タ保持先設定	△*1	0
	保全機能設定	バックアップ / リス トア設定	バックアップやバックアップ設定の保存先の 設定. バックアップデータ最大件数の設定. バックアップ号機指定する / しないの設定	△*1	0
			トリガバックアップの設定	0	0
		バックアップ / リストア機能	バックアップ / リストア機能の実行	0	0
	メモリ・データ	GOT データー括 取得	OS. 特殊データ. プロジェクトデータを CF カード /USB メモリヘコピー	0	0
		CNC データ入出力	CNC データ入出力の起動	0	0
	管理	メモリカード フォーマット	CF カード /USB メモリのフォーマット	0	0
		メモリ情報	GOTのメモリ空き容量の表示	0	0
		USB デバイス状態 表示	USB デバ イスの状態表示	0	0

項目			機能概要	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
何合继兆	メモリ・データ	SRAM 管理	SRAM ユーザ領域の使用状況の確認,バック アップ.リストア,初期化	×	0
休王依彤	管理	モーションプログラ ム (SV43) 入出力	モーションプログラム (SV43) 入出力の起動	×	0
		システムアラーム	システムアラームの表示	0	0
		メモリチェック	CF カード /USB メモリ,内蔵フラッシュメ モリのライト / リードチェック	0	0
		描画チェック	描画のチェック	0	0
		フォントチェック	フォントのチェック	0	0
白己診断	各種診断機能	タッチパネルチェッ ク	タッチパネルのチェック	0	0
		1/0 チェック	RS-232 インタフェースの入出力チェック	0	0
		ネットワーク 状態表示	ネットワークユニットの状態表示	△*1	0
		Ethernet 状態 チェック	Ethernet の接続状態チェック	×	0
一括自己診断機能		·	各種診断を一括診断.診断結果を CF カード / USB メモリヘコピー	△*1	0
		アラーム情報	アラームログファイルの削除 / コピー	0	0
			アラームログファイルの G1A → CSV/TXT 変換	0	0
			アラームログファイルのグラフ表示	0	0
	各種データ管理	拡張レシピ情報	拡張レシピファイルの G1P → CSV/TXT 変換, 拡張レシピファイルの削除 / コピー / 移動 / 新規作成,拡張レシピフォルダの削除 / 移動 / 名称変更 / 新規作成,拡張レシピレコードー 覧によるレコード値の書込み / 読出し / 照合, デバイス値の削除	△ *1	0
データ			ロギングファイルの G1L → CSV/TXT 変換	0	0
'官'理		ロギング情報	ロギングファイルの削除 / コピー / 移動 / 名 称変更, ロギングフォルダの削除 / 新規作成	0	0
			操作ログファイルの G10 → CSV/TXT 変換	0	0
		操作ログ情報	操作ログファイルの削除 / コピー / 移動 / 名 称変更,操作ログフォルダの削除 / 新規作成	0	0
		ハードコピー情報	ハードコピーファイルの削除 / コピー / 名称 変更	0	0
		特殊データ情報	特殊データファイルの削除 / チェック.特殊 データフォルダの削除.CF カード /USB メ モリの特殊データを.C ドライブ (内蔵フ ラッシュメモリ) にダウンロード	0	0

項目			機能概要	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
データ 管理		オペレータ情報管理	オペレータ情報の追加 / 編集 / 削除 / イン ポート / エクスポート. パスワードの変更. 自動ログアウト時間. パスワード有効期限. 外部認証用 ID の設定	0	0
	OS・プロジェク ト情報	指紋認証情報	指紋認証情報の追加 / 削除	0	0
		OS 情報	OS のインストール / アップロード / プロパ ティ表示 / データチェック	0	0
		プロジェクト情報	プロジェクトファイルのダウンロード / アッ プロード / 削除 / コピー / プロパティ表示 / データチェック	0	0

*1 下記の機能には対応していません。

項目	非対応の機能
マルチメディアの設定	長時間録画保存設定
Q/L/QnA 回路モニタの設定	コメント表示設定,複数回路データ保存設定
バックアップ / リストア設定	号機指定を有効にする
ネットワーク状態表示	CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニットのモニタ
一括自己診断機能	電源投入時刻履歴
拡張レシピ情報	CSV. TXT → G1P 変換

3) ユーティリティの表示

各種ユーティリティの設定画面を表示するためには、まずメインメニューを表示させる必要がありま す。



(1) メインメニュー

ユーティリティで設定できるメニュー項目が表示されます。

各メニュー項目部をタッチすると、それぞれの設定画面、または次の項目選択画面を表示します。

(2) システムメッセージ切換えボタン

ユーティリティ上の言語やシステムアラームの言語を切り換えるボタンです。 「Language」ボタンをタッチすると Select Language 画面が表示されます。

▶ 日本語 English 中文(简体) 中文(繁體) 한국어 Deutsch	
English 中文(简沐) 中文(號標) 한국어 Deutsch	
中文(简沐) 中文(劉楊) 한국어 Deutsch	
中文(契體) 한국어 Deutsch	
한국어 Deutsch	
Deutsch	
OV I	Canad

1 表示させたい言語のボタンをタッチしてボタ ンをタッチすると、言語が選択されます。

2 ボタンをタッチすると GOT は再起動し, ユー ティリティ上の言語が選択した言語に切り換わ ります。 4) メインメニューの表示操作

メインメニューは、下記3通りの操作で表示できます。

(いずれも GTDesigner3, GTDesigner2 から基本機能 OS を GOT の内蔵フラッシュメモリヘインストー ル後に行ってください。)

(1) プロジェクトデータ未ダウンロード時

GOT の電源を ON すると、タイトル表示後、自動的にメインメニューが表示されます。



(2) ユーティリティ呼出キータッチ時

ユーザ作成画面を表示中,ユーティリティ呼出キーをタッチするとメインメニューが表示されます。 工場出荷時のユーティリティ呼び出しキーの位置は、画面左上隅です。



ユーティリティ呼出しキーは, GOT のユーティリティ, GTDesigner3 または GTDesigner2 により設定できます。

Oポイント

(1) 2 点以上の同時押し禁止

GOT の画面を2 点以上同時にタッチしないでください。同時にタッチすると、タッチした部分以外が 反応する場合があります。

(2) ユーティリティ呼び出しキーを1 点に設定した場合

ユーティリティ呼び出しキーの設定画面で[押下時間]を0秒以外に設定した場合,[押下時間]以上 タッチパネルを押し続けたあとに、タッチパネルから指を離してください。 (3) 拡張機能スイッチ(ユーティリティ) タッチ時

ユーザ作成画面を表示中, 拡張機能スイッチ(ユーティリティ)をタッチすると, メインメニューが 表示されます。

拡張機能スイッチ(ユーティリティ)は、GT Designer3, GT Designer2 によりユーザ作成画面中に表示するタッチスイッチとして設定できます。





・ウィンドウの移動状態の確認方法

ウィンドウ移動時に鳴るブザー音の有無は、GTDesigner3やGOTのユーティリティで設定できます。



備考:ウィンドウを移動させて閉じた場合

ウィンドウの位置を移動させて閉じた場合、再度オーバーラップウィンドウを開くと、前回移動した 位置に表示されます。

5) ユーティリティの基本構成

ユーティリティの基本構成は以下のとおりです。



(1) タイトル表示

タイトル表示部にはその画面のタイトル名が表示されます。

画面は複数階層で構成されているため、その階層も含めたタイトル表示を行います。

本体機能設定:操作に関す	る設定	×
フ゛サ゛ー音	無しタイトル表示	
ウィンドウ移動時ブザー音	なし	
tキュリティ設定	設定	
ユーティリティ呼び出しキー		
本体機能設定:操作に関する	i設定:1-7-054呼び出しキー	
選択してください。	タイトル表示	
掉下時間 □ 秒		

(2) 閉じる/元へ戻るボタン

階層の途中の画面が表示されているときに、画面右上隅にある[×](閉じる/元へ戻る)ボタンをタッチすると、1つ前の階層の画面へ戻ります。

モニタ画面から直接表示されたときに、このボタンをタッチすると画面を閉じ、モニタ画面へ戻りま す。

(3) スクロールボタン

画面1 枚に収まりきらない内容をもつ画面には右,または下にスクロールボタンがあります。

▲/▼/▲/▶キーで1行あるいは1列分スクロールします。

▲/▼/●キーで1画面分スクロールします。

6) 設定変更の基本操作

■設定値の変更



例:[操作に関する設定]画面

(1) 設定項目,選択ボタン

選択ボタンをタッチすることで、設定を変更できます。

- 設定項目により、設定方法は異なります。
- 設定方法には、下記のような種類があります。
- (a) 設定値を切り換える
- タッチすると、あり←→なしのように、設定値を切換えできます。
- (b) キーボードで設定値を入力する
- タッチすると、GOT の画面上にキーボードが表示されます。
- (c) 別の設定画面に移行する
- タッチすると、別の設定画面に移行します。

各設定項目の設定方法は、各設定画面の設定操作を参照してください。

(2) [OK] ボタン, [Cancel] ボタン, [×](閉じる/元へ戻る) ボタン
 変更した設定の反映や,破棄を行います。

・[OK] ボタン

タッチすると、変更した設定が反映され、前の画面に戻ります。 設定項目によっては、GOT が再起動します。

・[Cancel] ボタン

タッチすると、設定内容が破棄され、前の画面に戻ります。

・ [×] (閉じる/元へ戻る) ボタン

タッチすると、下記のダイアログボックスが表示されます。(変更 した設定がない場合は表示されません)ダイアログボックスのメッ セージに従って操作してください。



■キーボードの操作

1. 変更する数値をタッチしてください。

2. 数値入力用のキーボードが表示され、同時にカーソルが表示されます。
 キーボードはタッチされた数値の位置により表示される位置が変化します。
 (数値入力の際, 邪魔にならない位置に表示されます)。

接続機器設定 標準I/Fの設定 Ethernet I/F割当 F+07AW-K*3/A*割当 CHNo. RS222 9V電源供給 I A/QRAZ/202FU.L/GJ71C24 9 ホスト(A*)322 CHNo. RS422/425 ChNo. Ethernet D 未使用 拡張1/Fの設定 18% (CNA2_F46 日 近低1/F-2 18% (CNA2_F46 日 近低1/F-2	
標準1/Fの設定 ChNo. [FS232 5/電源供給 ChNo. [US8 1 A/9nA/L/QCPU.L/GJ71C24 3 ホスト(۸*)32) ChNo. [FS422/485 0 末使用 末使用 拡張1/Fの設定 16% (FS422/485 ChNo.] Ethernet 0 末使用 拡張1/F-2 FTE	X
ChNb.: RS232 SV電焼供給 ChNb.: USB 1 A/GnA/L/QCPU,L/GU71C24 9 ホスト(ホ*ソコン) ChNb.: RS422/485 ChNb.: Ethernet 0 1.未使用 未使用 拡張1/Fの設定 拡張1/F-2 180 CM2 王位用	
ChNo.: R3422/485 ChNo.: Ethernet D:: 未使用 未使用 拡張!/Fの設定 拡張!/F-2 180 1500	
拡張1/Fの設定 188 拡張1/F−1 拡張1/F−2	\exists
<u> 拡張 /F-1 </u>	
	\dashv
3段 [ChNo.] 未使用 ChNo.] 未使用 ChNo.] 未使用 0 未使用 0 未使用 0 未使用 0 未使用 0 未使用 0 未使用 0 未使用 0 未使用 0 未使用 0 未使用 0	\exists
CNO ,の定義 C+木使用 5-8:外部機器接続 *:その他接続 1-4:FA機器接続 9:パンゴ接続	
	أدع
0 1 2 3 4 * Cancel Enter	

- 3. キーボードにより数値を入力してください
- · [0]~[9]キー:数値を入力します。
- ・[Enter]キー:数値の入力を完了し、キーボードを閉じます。
- · [Cancel]キー:数値の入力を中断し、キーボードを閉じます。
- ・ < (三角左向) / ▶ (三角右向) キー:カーソルを左右に移動します。
 (入力可能な項目が左右にある場合のみ移動できます。)
- · [Del]キー:文字取り消します。
- ・[*]キーおよび記載のないキーは機能しません。
- 4. [Enter] キーをタッチすると入力を完了し、キーボードを閉じます。

[実践的FAQ パスワード]

<u>ユーティリティ表示をロック(非表示)にすることはできないか?</u>

ユーティリティの表示をパスワードでロックことが可能です。 GT Designer3, GT Designer2 で GOT にパスワード設定した場合, ユーティリティのメインメニューを 表示しようとすると, パスワード入力が表示されます。

(GT Designer3 のパスワード設定は、共通の設定メニューの中に、GT Designer2 のパスワード設定は、 共通設定メニューの中にあります。)



パスワードが不一致の場合は、エラーメッセージを表示します。



[OK] ボタンをタッチするとモニタ画面に戻ります。

(1) パスワードの入力操作

- 1. [0] ~ [9], [A] ~ [F] キーをタッチして, パスワードを入力してください。
- 2. パスワード入力後, [Enter] キーをタッチして, パスワードを確定してください。

3. 入力した文字を修正するときは、[Del] キーをタッチして修正する文字を削除して、新しい文字を 再入力してください。

(2) パスワード入力を中断する操作

[×] ボタンをタッチすると、モニタ画面に戻ります

[実践的FAQ121 パスワードの設定]

<u>ユーティリティのパスワードの設定方法は?(ユーティリティ操作を制限する)</u>







付録 2. ヘルプの使い方

PDF データを閲覧するには、パソコンに Adobe®Reader®がインストールされている必要があります。

・GTDesigner3のヘルプからオンラインマニュアルを見る

ヘルプでは, GTDesigner3 に関連する PDF マニュアルの閲覧, ソフトウェアバージョンの確認などが できます。

(1) 操作方法

(a) [ヘルプ]の各メニューをクリックします。



項目	内容
画面設計マニュアル(共通編)	GT Designer3 Version 1 画面設計マニュアル(共通編)を閲覧します。
画面設計マニュアル(作画編)	GT Designer3 Version 1 画面設計マニュアル(作画編)を閲覧します。
目次	PDF マニュアルを閲覧します。
MELFANSwebへの接続	三菱電機 FA 機器技術情報サービス MELFANSweb ホームページに接続します。
バージョン情報	GT Designer3 のパージョンを確認できます。

(2) PDF マニュアルの閲覧手順(目次選択時のみ)

(a)(1)の操作後、下記の画面が表示されるので、参照したいマニュアルをクリックしてください。

INDEX MENU GOT1000 シリーズ

■ GOT1000 シリーズ PDF マニュアル

- ▶ <u>GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)</u>
- ▶ <u>GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(作画編)</u>
- ▶ GOT1000 シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)
- ▶ GOT1000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 1)
- ▶ G0T1000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 2)
- ▶ <u>GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン·MODBUS·周辺機器接続編)</u>
- ▶ <u>GOT1000 シリーズゲートウェイ機能マニュアル</u>
- ▶ <u>GOT1000 シリーズ MES インタフェース機能マニュアル</u>
- ▶ <u>GT Simulator3 Version1操作マニュアル</u>
- ▶ <u>GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル</u>
- ▶ <u>GT Converter2 Version3 操作マニュアル</u>
- ▶ GOT1000 シリーズ本体取扱説明書(拡張機能・オプション機能編)
- ▶ GT16 本体 取扱説明書
- GT15 本体 取扱説明書
- GT11本体 取扱説明書

画面設計マニュアル (共通編) 形名 SW1-GTD3-R(DRAW1) 形名コード 1D7M94

<u>※PDF マニュアルを表示する前に</u> <u>PDF マニュアルを表示する場合, GT Manual3 と Adobe® Reader® をパソコンにインストールしてくだ</u> さい。

付録 3. キーコードについて

(1) 数値入力機能,アスキー入力機能入力用キーコード一覧

+-	キーコード ^(H)	+-	キーコード ^(H)	+-	キーコード ^(H)	+-	キーコード ^(H)
SP	0020н	@	0040н	~	0060н	←	0081H
!	0021н	А	0041н	а	0061н	t	0082н
-	0022н	В	0042н	b	0062н	Ļ	0083н
#	0023н	С	0043н	С	0063н	(クリア)	0088н
\$	0024н	D	0044н	d	0064н		
%	0025н	E	0045н	е	0065н		
&	0026н	F	0046н	f	0066н		
	0027н	G	0047н	g	0067н		
(0028н	Н	0048н	h	0068н		
)	0029н		0049н	i	0069н		
*	002Ан	J	004Ан	j	006Ан		
+	002Вн	К	004BH	k	006Вн		
	002CH	L	004CH	I	006Сн		
-	002DH	М	004DH	m	006DH		
	002Ен	N	004Ен	n	006Ен		
/	002FH	0	004FH	0	006FH		
0	0030н	Р	0050н	p	0070н		
1	0031н	Q	0051H	q	007 1 н		
2	0032н	R	0052н	r	0072н		
3	0033н	S	0053н	S	0073н		
4	0034н	Т	0054н	t	0074н		
5	0035н	U	0055н	u	0075н		
6	0036н	V	0056н	V	0076н		
7	0037н	W	0057н	W	0077н		
8	0038н	Х	0058н	Х	0078н		
9	0039н	Y	0059н	У	0079н		
:	003Ан	Z	005Ан	Z	007Ан		
:	003Вн	[005Вн	{	007Вн		
<	003Сн	¥	005Сн		007Сн		
=	003DH]	005DH	}	007DH		
>	003Ен	^	005EH	~	007EH		
?	003FH	_	005FH	→	0080н		

(2) 各オブジェクトで使用するキーコード一覧

(a) 数値入力で使用するキーコード

キーコード ^(H)	用途
0008н	最下位桁を消去し. 全体を 1 桁右シフト
000DH	書き込み先デバイスへ書き込み (実行)/カーソルの移動
001BH	キャンセル
002DH	"±"(符号反転)
002Ен	и м -
0030н ~ 0046н	数値の入力
0090н	オブジェクト内カーソル右移動
0091н	オブジェクト内カーソル左移動
0092н	カーソルのユーザ ID 昇順移動
0093н	カーソルのユーザ ID 降順移動
FFFAH	インクリメント
FFFBH	デクリメント

(b)アスキー入力で使用するキーコード

キーコード ^(H)	用途
0008н	最右端の文字を消去し、全体を一文字分右シフト
000DH	書き込み先デバイスへ書き込み (実行)/カーソルの移動
001Вн	キャンセル
ASCII コード. シフト JIS 漢字コード	文字の入力
0084н	漢字変換
0085н	前候補
0086н	次候補,変換
0087н	選択 / 無変換 / 次文節選択
0089н	前文節選択
0090н	オブジェクト内カーソル右移動. 文節伸長
0091н	オブジェクト内カーソル左移動. 文節短縮
0092н	カーソルのユーザ ID 昇順移動
0093н	カーソルのユーザ ID 降順移動
0094H	キーウィンドウ切り換え(次へ)
0095H	キーウィンドウ切り換え(前へ)
009CH	キーウィンドウ切り換え(画面番号指定)

(c) データリスト表示で使用するキーコード

キーコード ^(H)	用途
00F2H	1 行上スクロール
00F3н	1 行下スクロール

(d) ユーザアラーム表示/システムアラーム表示で使用するキーコード

キーコード ^(H)	用途
00F2H	1 行上スクロール
00F3н	1 行下スクロール
FFB0н	カーソルの表示
FFB1H	カーソルの消去
FFB2H	カーソルの上移動(カーソル非表示時、表示内容の改貢)
FFB3H	カーソルの下移動(カーソル非表示時、表示内容の改貢)
FFB8H	詳細情報の表示
FFBCH	回路の表示

(e)アラーム履歴機能で使用するキーコード

キーコード ^(H)	用途
FFB0н	カーソルの表示
FFB1H	カーソルの消去
FFB2H	カーソルの上移動(カーソル非表示時、表示内容の改貢)
FFB3H	カーソルの下移動(カーソル非表示時、表示内容の改貢)
FFB4H	選択アラームの日時表示(確認)
FFB5H	全アラームの日時表示(全確認)
FFB6H	復旧済み選択アラームの消去(削除)
FFB7H	復旧済み全アラームの消去(全削除)
FFB8H	詳細情報の表示
FFB9H	選択アラームのリセット
FFBBн	アラーム内容のメモリカード保存
FFBCH	回路の表示

(f) 拡張アラーム表示で使用するキーコード

キーコード ^(H)	用途
FFB0н	カーソルの表示
FFB1H	カーソルの消去
FFB2H	カーソルの上移動
FFB3н	カーソルの下移動
FFB4H	選択アラームの日時表示(確認)
FFB5H	全アラームの日時表示(全確認)
FFB6H	復旧済み選択アラームの消去(削除)
FFB7H	復旧済み全アラームの消去(全削除)
FFB8H	詳細情報の表示 / 下階層移動
FFB9H	選択アラームのリセット
FFBBH	アラーム内容のメモリカード保存
FFBCH	回路の表示
FFC2H	上階層移動

(g) ヒストリカルトレンドグラフで使用するキーコード

キーコード ^(H)	用途
FFD4H	表示位置時刻指定ジャンプ
FFEFH	最新データ
FFFOH	カーソルの表示
FFF1H	カーソルの消去
FFF2H	カーソル移動(進む)
FFF3H	カーソル移動(戻る)
FFF4H	グラフ移動(進む)
FFF5H	グラフ移動(戻る)
FFF6H	グラフ頁スクロール(進む)
FFF7H	グラフ頁スクロール(戻る)
FFF8H	時間軸拡大
FFF9H	時間軸縮小

(h)ドキュメント表示機能で使用するキーコード

キーコード ^(H)	用途
FFEOH	頁送り
FFE1H	頁戻し
FFE2H	拡大表示
FFEЗн	縮小表示
FFE4H	上スクロール
FFE5H	下スクロール
FFE6H	左スクロール
FFE7H	右スクロール

付録 4. XOR 指定時の色合成色

部品表示機能などで、	描画モード	を XOR 指定した場合の,	色と色番号を下記に示します。
下記以外の色を XOR す	る場合は、	GTDesigner3のプレビュ	ーで確認してください。

	黒	青	赤	紫	緑	水	黄	白	暗青	暗赤	暗紫	暗緑	暗水	暗黄	灰	暗白
	0	3	224	227	28	31	252	255	2	160	162	20	22	180	182	109
黒	黒	青	赤	紫	緑	水	黄	白	暗青	暗赤	暗紫	暗緑	暗水	暗黄	灰	暗白
0	0	3	224	227	28	31	252	255	2	160	162	20	22	180	182	109
青	青	黒	紫	赤	水	緑	白	黄	-	-	-	-	-	-	-	-
3	3	0	227	224	31	28	255	252	1	163	161	23	21	183	181	110
赤	赤	紫	黒	青	黄	白	緑	水	-	-	-	-	-	-	-	-
224	224	227	0	3	252	255	28	31	226	64	66	244	246	84	86	141
紫	紫	赤	青	黒	白	黄	水	緑	-	-	-	-	-	-	-	-
227	227	224	3	0	255	252	31	28	225	67	65	247	245	87	85	142
緑	緑	水	黄	白	黒	青	赤	紫	-	-	-	-	-	-	-	-
28	28	31	252	255	0	3	224	227	30	188	190	8	10	168	170	113
水	水	緑	白	黄	青	黒	紫	赤	-	-	-	-	-	-	-	-
31	31	28	255	252	3	0	227	224	29	191	189	11	7	171	169	114
黄	黄	白	緑	水	赤	紫	黒	青	-	-	-	-	-	-	-	-
252	252	255	28	31	224	227	0	3	254	92	94	232	234	72	74	145
白	白	黄	水	緑	紫	赤	青	黒	-	-	-	-	-	-	-	-
255	255	252	31	28	227	224	3	0	253	95	93	235	233	75	73	146
暗青	暗青	-	-	-	-	-	-	-	黒	暗紫	暗赤	暗水	暗緑	灰	暗黄	-
2	2	1	226	225	30	29	254	253	0	162	160	22	20	182	180	111
暗赤	暗赤	-	-	-	-	-	-	-	暗紫	黒	暗青	暗黄	灰	暗緑	暗水	-
160	160	163	64	67	188	191	92	95	162	0	2	180	182	20	22	205
暗紫	暗紫	-	-	-	-	-	-	-	暗赤	暗青	黒	灰	暗黄	暗水	暗緑	-
162	162	161	66	65	190	189	94	93	160	2	0	182	180	22	20	207
暗緑	暗緑	-	-	-	-	-	-	-	暗水	暗黄	灰	黒	暗青	暗赤	暗紫	-
20	20	23	244	247	8	11	232	235	22	180	182	0	2	160	162	121
暗水	暗水	-	-	-	-	-	-	-	暗緑	灰	暗黄	暗青	黒	暗紫	暗赤	-
22	22	21	246	245	10	7	234	233	20	182	180	2	0	162	160	123
暗黄	暗黄	-	-	-	-	-	-	-	灰	暗緑	暗水	暗赤	暗紫	黒	暗青	-
180	180	183	84	87	168	171	72	75	182	20	22	160	162	0	2	217
灰 182	灰 182	- 181	- 86	- 85	- 170	- 169	- 74	- 73	暗黄 180	暗水 22	暗緑 20	暗紫 162	暗赤 160	暗青 2	黒 0	219
暗白 109	暗白 109	- 110	- 141	- 142	- 113	- 114	- 145	- 146	- 111	- 205	207	- 121	- 123	- 217	219	黒 0

備考:XOR 合成

XOR 合成は,別々に設定した 2 つの色を重ね合わせた場合,重なった部分を別の色で表示する機能で す。表示される色については,上記表を参照してください。

<u>付録 5. ASCII コード一覧</u>

ASCII コードの-	-覧を下記に示します。(空白部分は制御コードです。)	
0xA1~ 0xDF は,	GOT のシステム言語が日本語の場合のみ表示できます。	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	А	В	С	D	Ε	F
0			(SP)	0	@	Ρ	`	р				-	タ	Ш		
1			1	1	А	Q	а	q			0	ア	チ	Ь		
2				2	В	R	b	r			٢	イ	ッ	×		
3			#	3	С	S	С	S			J	ゥ	テ	Ŧ		
4			\$	4	D	Т	d	t			N	I	F	ヤ		
5			%	5	Е	U	е	u			•	オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V	f	V			F	力	_	Ξ		
7			•	7	G	W	g	W			ア	+	R	ラ		
8			(8	Н	Х	h	Х			イ	ク	ネ	リ		
9)	9		Y	i	У			ゥ	ケ	/	N		
А			*	:	J	Ζ	j	Ζ			I		ハ	u		
В			+	;	K	[k	{			オ	サ	F			
С				<	L	\					ヤ	シ	フ	ヮ		
D			-	=	М]	m	}			٦	ス	\wedge	ン		
Е				>	Ν	^	n	~			Э	セ	朩	8		
F			/	?	0		0				ッ	ソ	7	0		

1. バス接続

(QCPU と接続時)

(1)システム構成

OGOT を1台接続する場合



		シーケンサ				GOT			
基本ベース			増計	殳ベース					
基本 ベース	バス延長 コネクタ ボックス ^{*2}	増設 ケーブル [™]	増設 ベース	バス延長 コネクタ ボックス ^{*2}	接続ケーブル	オプション機器 ^{*4}	本体	最長距離	
	-	-	-	_	GT15-QC06B(0.6m) GT15-QC12B(1.2m) GT15-QC30B(3m) CT15-QC50P(5m)	GT15-75QBUSL GT15-75QBUS2L GT15-QBUS GT15-QBUS2	er 16 15	基本ペースとGOT間: 13.2m	
	-	増設ケーブル (13.2m 以内)	増設 ベース	-	GT15-QC100B(10m)	-(本体内蔵)	GT11 /(7	(増設ソーンル技術者の)	
基本 ペース	A9GT -QCNB ^{*3}	-	-	-	GT15-QC06B(0.6m) GT15-75QBUSL GT15-QC12B(1.2m) GT15-75QBUS2L GT15-QC30B(3m) GT15-QBUS GT15-QC50B(5m) GT15-QBUS2		er 16 15	- 基本ペースと GOT 間: 37m (増設ケーブル長を含む)	
	-	増設ケーブル (13.2m 以内)	増設 ペース	A9GT -QCNB	GT15-QC100B(10m) GT15-QC150BS(15m) GT15-QC200BS(20m) GT15-QC250BS(25m) GT15-QC300BS(30m) GT15-QC350BS(35m)	GT15-QC100B(10m) 5T15-QC150BS(15m) 5T15-QC250BS(20m) 5T15-QC250BS(25m) -(本体内蔵) 5T15-QC300BS(30m) 5T15-QC350BS(35m)			

*1 増設ケーブルについては MELSEC-Q カタログを参照してください。

*2 GOT を 13.2m 以上離れた場所に設置する場合,バス延長コネクタボックスが必要です。

バス延長コネクタボックスは、ベースユニットの増設コネクタに装着して使用します。

また、接続ケーブルはバス延長コネクタボックスに取り付けます。

増設ベースユニットを使用しない場合:基本ベースユニットに装着する。

増設ベースユニットを使用する場合∶最終段の増設ベースユニットに装着する。

*3 Q00JCPU, Q00UJCPU を使用する場合, バス延長コネクタボックスは増設ベースに装着してください。 (基本ベースには装着できません。)

*4 下記の機能を使用する場合は, GT15-QBUS(2)をご使用ください。GT15-75QBUS(2)Lは使用できません。

パソコンリモート操作(シリアル),ビデオ表示機能,マルチメディア機能,操作パネル機能,外部入 付録_23 出力機能, RGB 表示機能, レポート機能(PictBridge 対応プリンタ使用時), ハードコピー機能 (PictBridge 対応プリンタ使用時), 音声出力機能, CF カードユニット/CF カードユニット延長ユニッ トを使用する機能, Ethernet ダウンロード機能, ゲートウェイ機能, MES インタフェース機能 ただし, GT16 では Ethernet インタフェースを使用して, Ethernet ダウンロード, ゲートウェイ機能, MES インタフェース機能が使用できます。

OGOTを2~5台接続する場合



		シーケンサ	-		GOT(1 台目			
基本ベース			ţ	讃設ベース	接続ケーブル①			
基本ベース	バス延長 コネクタボックス ^{*2}	増設ケーブル *1	増設ベース バス延長 コネクタボックス ^{*2}		接続リーフル①	オプション機器 *6*7	本体	
基本ペース	-	-	-	-	GT15-QC06B(0.6m) GT15-QC12B(1.2m) GT15-QC20B(2m)	GT15-75QBUS2L GT15-QBUS2	ទា 16 ទា 15	
	-	増設ケーブル (13.2m 以内)	増設ペース	-	GT15-QC50B(5m) GT15-QC100B(10m)	GT15-75QBUS2L GT15-QBUS2	वा 16 इन् 15	
	A9GT-QCNB*3	-	-	-	GT15-QC06B(0.6m) GT15-QC12B(1.2m) GT15-QC30B(3m) GT15-QC50B(5m) GT15-QC100B(10m)	GT15-75QBUS2L GT15-QBUS2	ब 16 ब 15	
	-	増設ケーブル (13.2m 以内)	増設ペース	A9GT-QCNB	GT15-QC150BS(15m) GT15-QC200BS(20m) GT15-QC250BS(25m) GT15-QC300BS(30m) GT15-QC350BS(35m)	GT15-75QBUS2L GT15-QBUS2	बा 16 बा 15	

*1 増設ケーブルについては MELSEC-Q カタログを参照してください。

*2 GO を 13.2m 以上離れた場所に設置する場合,バス延長コネクタボックスが必要です。

バス延長コネクタボックスは、ベースユニットの増設コネクタに装着して使用します。

増設ベースユニットを使用しない場合:基本ベースユニットに装着する。

増設ベースユニットを使用する場合:最終段の増設ベースユニットに装着する。

また、接続ケーブルはバス延長コネクタボックスに取り付けます。

バス延長コネクタボックスは、GOT 本体と同じ増設段数に設定してください。

*3 Q00JCPU, Q00UJCPU を使用する場合, バス延長コネクタボックスは増設ベースに装着してください。 (基本ベースには装着できません。)

	G0T(中間) ^{'4'5}			GOT(総雄) ^{'4'5}			
接機ケーブル②	オブション機器 1677	本体	接続ケー ブル①	オブション機器 '6'7	本作	最長新篇	
	GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS2	916 915	GT15-QC06B(0.6m) GT15-QC12B(1.2m) GT15-QC30B(3m) GT15-QC50B(5m) GT15-QC150BS(15m) GT15-QC150BS(20m) GT15-QC200BS(20m) GT15-QC200BS(20m) GT15-QC300BS(30m) GT15-QC350BS(35m)	GT15-75QBUSL, GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS, GT15-QBUS2	"16 "15	基本ペースと GOT(1 台目) 間: 13.2m 基本ペースと GOT(幹緒) 間:	
				-(本体内藏)	11	37m	
GT15-QC06B(0.6m) GT15-QC12B(1.2m) GT15-QC30B(3m) GT15-QC50B(5m) GT15-QC100B(10m) GT15-QC100BS(16m) GT15-QC200BS(20m) GT15-QC200BS(20m) GT15-QC300BS(35m)	GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS2	96 95		GT15-75QBUSL, GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS, GT15-QBUS2	"16 "15	基本ペースと GOT(1 台目) 間: 13.2m(増設ケーブル長を含む) 基本ペースと GOT(お場)間:	
				-(本体内蔵)	3	37m(増設ケーブル長を含む)	
	GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS2	14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 1		GT15-75QBUSL, GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS, GT15-QBUS2	5 16 15	基本ペースと GOT(終端) 間 : 37m	
				-(本体内蔵)			
	GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS2	*16 *15		GT15-75QBUSL, GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS, GT15-QBUS2	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	基本ペースと GOT(終端) 間 : 37m(増設ケーブル長を含む)	
				-(本体内藏)	1]	

*4 GOT を3台以上接続する場合、総ケーブル長に制約があります。

*5 複数台接続について

GT16, GT15, GT11 を混在させて複数台接続する場合, GT11 を終端に使用します。

*6 バス接続ユニットについて

GT15-75QBUSL, GT15-QBUS:終端の GOT に使用します。(中間の GOT は使用不可)

GT15-75QBUS2L, GT15-QBUS2:中間の GOT に使用します。(終端の GOT でも使用可能)

*7 下記の機能を使用する場合は、GT15-QBUS(2)をご使用ください。GT15-75QBUS(2)Lは使用できません。

パソコンリモート操作(シリアル),ビデオ表示機能,マルチメディア機能,操作パネル機能,外部入 出力機能, RGB 表示機能,レポート機能(PictBridge 対応プリンタ使用時),ハードコピー機能 (PictBridge 対応プリンタ使用時),音声出力機能,CF カードユニット/CF カードユニット延長ユニッ トを使用する機能,Ethernet ダウンロード機能,ゲートウェイ機能,MES インタフェース機能 ただし,GT16 ではEthernet インタフェースを使用して,Ethernet ダウンロード,ゲートウェイ機能, MES インタフェース機能が使用できます。



2. 接続機器の設定ウィンドウが表示されるの
 で、使用するチャンネルをリストメニューから選択します。

3. 下記を選択します。

・メーカ∶三菱電機

·機種:接続する機種にあわせて設定してください。

·I/F:使用するインタフェース

・ドライバ:接続する機種にあわせて下記のいずれかを設定してください。

・バス接続Q

・バス接続 A/QnA

4. メーカ, 機種, I/F, ドライバを設定すると詳細設定が表示されます。 使用する環境に合わせて設定してください。

設定が完了したら、"OK"ボタンをクリックします。 〇ポイント 接続機器の設定は[I/F 接続一覧]で確認できます。

○接続機器詳細設定

バス接続 Q

詳細設定

値
1
0
標準
12

項目	内容
増設段数	(デフォルト:1)
スロット No.	(デフォルト:0)
モニタ速度	GOT のモニタ速度を設定します。 本設定は、すべてのシステムで有 になるものではありません。 (デフォルト:標準)
通信タイムアウ ト時間(秒)	通信時のタイムアウト時間を指定 ます。(デフォルト:12)

*1 モニタ画面以外で,大きなデータを収集(ロギング,レシピ機能など)している場合に有効です。 ただし,Q00UJ/Q00U/Q01U/Q02UCPU,Q00J/Q00/Q01CPU を接続時は、シーケンススキャンタイムに影響 を与えることがあります。

シーケンススキャンタイムへの影響を避けたい場合は、[高]の設定にしないでください。

(上記以外の QCPU にはほとんど影響ありません)

*2 Q00UJ/Q00U/Q01U/Q02UCPU, Q00J/Q00/Q01CPU 接続時, [標準]設定よりさらに, シーケンススキャンタイムへの影響を避けたい場合に設定してください。

ただし、モニタ速度が低下する場合があります。

1. ユーティリティによる通信インタフェースの設定

通信インタフェースの設定は、プロジェクトデータの[接続機器設定]を書き込み後、ユーティリティの[接続機器設定]でも変更できます。

2. 接続機器設定の設定内容の優先順位

GTDesigner3 またはユーティリティで設定した場合は、後から設定した設定内容で動作します。

3. 増設段数, スロット No. を変更する場合 PLCCPU の電源 OFF 時に変更を行い, 変更後に PLCCPU と GOT の電源を再投入してください。上記を行わない場合には, システムアラーム (No. 487) が発生します。

(3) 増設段数,スロットNo.の設定について ポイント 増設段数,スロットNo.を設定する前に PLCCPU は、GOT を下記のように認識します。 ・QCPU (Q モード) :I/0 点数 16 点のインテリジェント機能ユニット ・QCPU (Q モード) 以外 :I/0 点数 32 点のインテリジェント機能ユニット

[接続機器詳細設定] にて、PLCCPU の空き I/0 スロットに GOT を割り付けてください。

QCPU(Qモード)と接続時

GOT 接続用の増設段数を1段(16 点×10 スロット分)設けて, GOT を I/0 スロットに割り付けてください。

(基本ベース/増設ベースの空き I/0 スロットには割付けできません。)



Oポイント

バス延長コネクタボックスを使用する場合

バス延長コネクタボックスの増設段数スイッチを、GOTと同じ増設段数に設定してください。

(4) GOT の電源投入時

(1)システム構築

PLCCPUは, GOT が起動するまでリセット状態となります。

そのため、シーケンスプログラムは動作しません。

シーケンスプログラムから GOT の電源を ON させるような、システムは構築できません。

(2) GOT の電源投入後, PLC が RUN するまでの時間

GOT の電源投入後, GOT が起動し, PLC が RUN するまでに下記の時間がかかります。

・QCPU(Qモード), モーションコントローラ CPU

(Q シリーズ):10 秒以上

·MELDAS C70:18 秒以上

上記の時間の間に GOT を起動すると、システムアラームが発生します。システムアラームを発生させたいためには、GOT セットアップのタイトル表示時間を調整してください。

(3) GOT と PLC の電源投入順序

GOT と PLC の電源をどちらから先に投入しても、立ち上げできます。(電源投入順序は、特に決まりはありません。)

ただし、GOT→PLCの順番で電源を投入した場合は、下記のような動作になります。

GOT の電源 ON 時に PLC の電源が OFF 状態の場合, システムアラーム (No. 402: タイムアウトエラー)が 発生します。

PLCCPU が ON 状態になれば, GOT は自動的にモニタを開始します。

システム情報を使用してアラームのリセットを行ってください。

2. CPU 直接接続

(QCPU と接続時)

(1)システム構成



シーケンサ		接続ケーブル		GO'			
形名	RS-422 変換ケーブル	通信形態	ケーブル形名	最長 距離	オプション機器	本体	接続可能台数 *5
MELSEC-Q	_	RS-232	GT01-C30R2-6P(3m)	Зm	-(本体内蔵)	er 16 15 er11 ⇒077# €r105⊟	- シーケンサ 1 台に 対し. GOT1 台
					GT15-RS2-9P	ат 16 ат 15	
					GT01-RS4-M*4	_	
			GT10-C30R2-6P(3m) *2	Зm	-(本体内蔵)	^{GT} _{24V} 10 ²⁰ ₃₀	
	FA-CNV2402CBL(0.2m) FA-CNV2405CBL(0.5m)	RS-422	GT01-C30R4-25P(3m) GT01-C100R4-25P(10m) GT01-C200R4-25P(20m) GT01-C300R4-25P(30m)	30m 30m	GT16-C02R4-9S	^{ет} 16	
					GT15-RS2T4-9P*1	ет 16 15	
					GT15-RS4-9S		
					-(本体内蔵)	^{бт} 11 ⋟ули ^{бт} 105⊟	
					GT01-RS4-M*4	от, 10 ²⁰ жү10 ²⁰	
			GT10-C30R4-25P(3m) GT10-C100R4-25P(10m) GT10-C200R4-25P(20m) GT10-C300R4-25P(30m) *3		-(本体内蔵)		

*1 RS-232 インタフェース(本体内蔵)に装着します。GT155口は、使用できません。

*2 GOT への接続は、結線図を参照してください。(RS232 結線図③)

*3 GOT への接続は、結線図を参照してください。(RS422 結線図②)

*4 GOT マルチドロップ接続についての詳細はマニュアルを参照してください。

*5 GT11, GT10 は, GT11, GT10 複数台接続機能を使用して, GOT を 2 台まで接続可能です。

(2)結線図



※PLCCPU 上部の USB 端子はパソコンと接続を行い、GX-Developer を使いラダープログラムの転送・デ バック等に用います

(3)GOT 側設定

〇通信インタフェースを設定する(接続機器の設定)

1. [共通の設定]→[接続機器の設定]メニューを選択します。



2. 接続機器の設定ウィンドウが表示されるので、使用するチャンネルをリストメニューから選択します。
 3. 下記を選択します。

・メーカ∶三菱電機

·機種:接続する機種にあわせて設定してください。

·I/F:使用するインタフェース

・ドライバ:接続する機種にあわせて下記の いずれかを設定してください。

GT16, GT15, GT11の場合

- A/QnA/L/QCPU, LJ71C24, QJ71C24
- MELSEC-FX
- MELSEC-WS

GT10 の場合

- QnA/L/QCPU
- MELSEC-A
- MELSEC-FX
- MELSEC-WS

4. メーカ, 機種, I/F, ドライバを設定すると詳細設定が表示されます。 使用する環境に合わせて設定してください。

設定が完了したら"OK"ボタンをクリックします。

〇接続機器詳細設定

使用する環境に合わせて設定してください。



(1) A/QnA/L/Q CPU, LJ71C24, QJ71C24

項目	内容	範囲
ボーレート	接続機器とのボーレートを変更するとき に設定します。 (デフォルト:115200bps) 接続機器が対応しているボーレートを超 える設定をした場合、接続機器が対応し ている最大のボーレートで通信します。	9600bps. 19200bps. 38400bps. 57600bps. 115200bps
リトライ回数	通信時のリトライ回数を指定します。 (デフォルト :0 回)	0~50
通信タイム アウト時間	通信時のタイムアウト時間を指定します。 (デフォルト:3秒)	3~30秒
送信ディレイ 時間	GOT から通信要求を出すタイミングを 調整するために設定します。 (デフォルト :Oms)	0~ 300(ms)
モニタ速度 (GT16 のみ)	GOTのモニタ速度を設定します。 本設定は、すべてのシステムで有効に なるものではありません。 (デフォルト:標準)	高 ^{*1} 標準 低 ^{*2}

詳細設定						
	プロパティ	値				
	ボーレート(BPS)	115200				
	リトライ回数(回)	0				
	通信タイムアウト時間(秒)	3				
	送信ディレイ時間(ms)	0				

*1 モニタ画面以外で,大きなデータを収集(ロギング,レシピ機能など)している場合に有効です。 ただし,Q00UJ/Q00U/Q01U/Q02UCPU,Q00J/Q00/Q01CPU を接続時は、シーケンススキャンタイムに影響 を与えることがあります。

シーケンススキャンタイムへの影響を避けたい場合は、[高]の設定にしないでください。

(上記以外の QCPU にはほとんど影響ありません)

*2 Q00UJ/Q00U/Q01U/Q02UCPU, Q00J/Q00/Q01CPU

接続時, [標準]設定よりさらに, シーケンススキャンタイムへの影響を避けたい場合に設定してくだ さい。ただし, モニタ速度が低下する場合があります。

ポイント

(1) ユーティリティによる通信インタフェースの設定

通信インタフェースの設定は、プロジェクトデータの[接続機器設定]を書き込み後、ユーティリティの[接続機器設定]でも変更できます。

(2) 接続機器設定の設定内容の優先順位

GTDesigner3 ユーティリティで設定した場合は、後から設定した設定内容で動作します。

設定例

タッチパネル側

曹 接続機器の設定					
 					
	メーカ(<u>M</u>):	三菱電機		►	
UH 3: 未接続 	機種(<u>E</u>):	MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション	~	
□ 🚠 ネットワーク/二重化設定	I/F Ф:	標準I/F(RS232)	標準I/F(RS232)		
書 ルーチング情報	ドライバ(D):	A/OnA/Q CPU QJ71C24		~	
□ 💀 ゲートウェイ	=* <m=n< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td></m=n<>				
ゲートウェイサーバ	計補助及定				
	プロパティ	(DDC)	値		
FTP FTP	ポーレート リトライ回	(DF3) 波(回)	0		
	通信タイム	、アウト時間(秒)	3		
	送信ディl	イ時間(ms)	0		
<					
ļ					



※通信ドライバを書き込んでく ださい

3. 計算機リンク(シリアルコミュニケーションユニット)接続

(QCPU と接続時)

(1)システム構成



シーケンサ			接続ケーブル		GOT		
形名	シリアル コミュニケーション ユニット ^{*1}	通信形態	ケーブル形名	最長 距離	オプション機器	本体	接続可能台数 ^{*5}
MELSEC-Q (Qモード)	QJ71C24 QJ71C24N QJ71C24-R2 QJ71C24N-R2 QJ71CMO QJ71CMON	RS-232	GT09-C30R2-9P(3m) または (売)RS232 結線図①	15m -	-(本体内蔵)	GT 16 GT GT 311 317 № GT 105 GT 105 GT 105 GT 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
					GT15-RS2-9P	°T °T 15	
					GT01-RS4-M ^{*4}	-	
			(計学)RS232 結線図③	15m	-(本体内蔵)	^{ст} _{24V} 10 ²⁰	シリアルコミュニケー シュンユニット 1 会
	QJ71C24 QJ71C24N QJ71C24N-R4	RS-422	(<u>**</u>)RS422 結線図②	1200m	-(本体内蔵)	^अ 16	に対し、GOT2台 ^{*3}
			GT09-C30R4-6C(3m) GT09-C100R4-6C(10m) GT09-C200R4-6C(20m) GT09-C300R4-6C(30m) または (デオ)RS422 結線図①	1200m	GT16-C02R4-9S	^{ст} 16	モデムインタフェース ユニット 1 台に対し GOT1 台
					GT15-RS2T4-9P*2	GT GT	
					GT15-RS4-9S	16 15	
					-(本体内蔵)	^{GT} 11 ∻IJアル ^{GT} 105□	
					GT01-RS4-M ^{*4}	_	
			(नून) (rg) RS422 結線図③	1200m	-(本体内蔵)	^{ст} _{24V} 10 ²⁰	

*1 シリアルコミュニケーションユニット側のシステム構成については、Q 対応シリアルコミュニケー ションユニットユーザーズマニュアル(基本編)のマニュアルを参照してください。

モデムインタフェースユニット側のシステム構成については、モデムインタフェースユニットユーザ ーズマニュアル(詳細編)のマニュアルを参照してください。

*2 RS-232 インタフェース(本体内蔵)に装着します。GT155口は、使用できません。

*3 シリアルコミュニケーションユニットの機能バージョン B 以降で GOT を 2 台接続できます。

*4 GOT マルチドロップ接続についての詳細はマルチドロップ接続を参照してください。

*5 GT11, GT10 は, GT11, GT10 複数台接続機能を使用して, GOT を 4 台まで接続可能です。ただし, モデムインタフェースユニット, またはシリアルコミュニケーションユニット(機能バージョン A)を 使用時は, 最大 2 台までとなります。

(2)結線図


ケーブル作成時の注意事項

(1)ケーブル長

RS-232 ケーブルの長さは、15m 以内で作成してください。



(3)GOT 側設定

〇通信インタフェースを設定する(接続機器の設定)

1. [共通の設定]→[接続機器の設定]メニューを選択します。





2. 接続機器の設定ウィンドウが表示されるので, 使用するチャンネルをリストメニューから選択し ます。

3. 下記を選択します。

・メーカ∶三菱電機

·機種:接続する機種にあわせて設定してください。

·I/F: 使用するインタフェース

・ドライバ:接続する機種にあわせて下記のいずれ

かを設定してください。

GT16, GT15, GT11の場合

• A/QnA/L/QCPU, LJ71C24, QJ71C24

- AJ71QC24, MELDAS C6*
- AJ71C24/UC24

GT10 の場合

- QnA/L/QCPU
- AJ71C24/UC24

4. メーカ, 機種, I/F, ドライバを設定すると詳細設定が表示されます。 使用する環境に合わせて設定してください。

設定が完了したら"OK"ボタンをクリックします。

O接続機器詳細設定使用する環境に合わせて設定してください。(1) A/QnA/L/QCPU, LJ71C24, QJ71C24



項目	内容	範囲	
ボーレート	接続機器とのボーレートを変更すると きに設定します。 (デフォルト:115200bps) 接続機器が対応しているボーレートを 超える設定をした場合,接続機器が対 応している最大のボーレートで通信し ます。	9600bps, 19200bps, 38400bps, 57600bps, 115200bps	
リトライ回数	通信時のリトライ回数を指定します。 (デフォルト:0回)	0 ~ 5 🛛	
通信タイム アウト時間	通信時のタイムアウト時間を指定します。 (デフォルト :3 秒)	3~30秒	
送信ディレイ 時間	GOT から通信要求を出すタイミングを 調整するために設定します。 (デフォルト:Oms)	0~ 300(ms)	
モニタ速度 (GT16 のみ)	GOT のモニタ速度を設定します。 本設定は、すべてのシステムで有効に なるものではありません。 (デフォルト:標準)	高 ^{*1} 標準 低 ^{*2}	

-		
	プロパティ	値
	ボーレート(BPS)	115200
	リトライ回数回)	0
	通信タイムアウト時間(秒)	3
	送信ディレイ時間(ms)	0
	モニタ速度	標準

*1 モニタ画面以外で,大きなデータを収集(ロギング,レシピ機能など)している場合に有効です。 ただし,Q00UJ/Q00U/Q01U/Q02UCPU,Q00J/Q00/Q01CPUを接続時は、シーケンススキャンタイムに影響 を与えることがあります。

シーケンススキャンタイムへの影響を避けたい場合は、[高]の設定にしないでください。

(上記以外の QCPU にはほとんど影響ありません)

*2 Q00UJ/Q00U/Q01U/Q02UCPU, Q00J/Q00/Q01CPU 接続時, [標準]設定よりさらに, シーケンススキャンタイムへの影響を避けたい場合に設定してください。

ただし、モニタ速度が低下する場合があります。

(4) PLC 側の設定

GOT と三菱電機 PLC を計算機リンク接続する場合に、下記に示す伝送仕様で動作します。

伝送仕様	設定内容
データビット	8ビット
パリティビット	あり(奇数)
ストップビット	1ビット
サムチェック	あり
伝送速度(ボーレート)	GOT とシーケンサ間で合わせる。

〇シリアルコミュニケーションユニット(Q, Lシリーズ)と接続時

GXDeveloper の[インテリジェント機能ユニットスイッチ設定]

GXDeveloper の[インテリジェント機能ユニットスイッチ設定]は、不要です。([インテリジェント機 能ユニットスイッチ設定]を行わない場合は、GXDeveloper 接続モードとして動作します。)

また, GXDeveloper の[インテリジェント機能ユニットスイッチ設定]を下記のように設定しても, GOT と接続できます。

(1) CH1 側に接続する場合

L	1/03こっト、インテリショント製能スニットスイッチ設定											
											_	
L							入力刑	ぼ	165進数	•]	I
Н		20.4	(49)	民々	7.4	26.00	77.77	26.71	2475			I
h	1	CPU	→##5/I CPU	R:25	X1971	<u></u>	X1978	人1974	X1970	-		I
Ī	i	0(#-0)	わ刊	QJ71C24(-R2)	0000	0000			0000			I
2	2	1 (9-1)										I

スイッチ	- E	ット		њ 👳		設定店		
番号	位置	指定值	Ī	N A		副头友		
	b0	OFF		動作設定				
スイッチ 1	b1	OFF	†	データビット	1			
	b2	OFF	CH1 伝送設定 *1			パリティ ビット		
	b3	OFF		奇数 / 偶数 パリティ				
	b4	OFF		伝送設定 +1 チェッコート	ストップ ビット	(GOT 側に 合わせて動 作します。)	0000н	
	b5	OFF			サム チェック コード			
	b6	OFF		RUN 中 書込み				
	b7	OFF	Ī	設定変更	1			
	b8~ b15	_	CH1 伝送	速度設定 ^{*2}				
スイッチ2			CH1 交信: 設定	プロトコル	GX Developer 接続	0000н		
スイッチ5	-		局番設定		0局目	0000 H		

(2) CH2 側に接続する場合

V	1/0.2ニット、インテリショント務金2ニットスイッチ設定										
						7.737	825	1002382	-	1	
	지카	種別	形名	21971	X1972	21973	X1074	Z1975	-		
0	GPU	CPU									
1	0(#=0)	わ刊	QJ71C24(-R2)			0000	0000	0000			
2	1(0-1)										

スイッチ	Ľ	ット		+	लंग		設定値	
番号	位置	指定值		М	Ŧ		即少友	
	b0	OFF		動作設定	Ē			
スイッチ3	b1	OFF		データ ビット		- (GOT 側に 合わせて動 作します。)		
	b2	OFF		パリテ- ビット	ſ		0000н	
	b3	OFF	CH2	奇数 / 偶 パリテ -	数 ſ			
	b4	OFF	伝送設定 *1	ストッ: ビット	プ			
	b5	OFF		サム チェック コード	ל			
	b6	OFF		RUN 中 書込み)			
	b7	OFF		設定変勢	更			
	b8~ b15	_	CH2 伝送速度設定 ^{*2}					
スイッチ 4	-	_	CH2 交信プロトコル 設定		GX Developer 接続	0000н		
スイッチ5	-		局番設定			0局目	0000н	

*1 下記に示す伝送仕様で動作します。

伝送仕様	設定内容
動作設定	独立
データビット	8ビット
パリティビット	あり
奇数 / 偶数パリティ	奇数
ストップビット	1ビット
サムチェックコード	あり

*2 シリアルコミュニケーションユニット/モデムインタフェースユニットは, GOT で設定したボーレ ートで動作します。 (1) [インテリジェント機能ユニットスイッチ設定]を設定した場合

<u>PC パラメータを PLCCPU に書込み後, PLCCPU の電源 OFF→ON または PLCCPU のリセット操作を行って</u> <u>ください。</u>

(2)GOTの同時接続

シリアルコミュニケーションユニットは、機種によって CH1, CH2 を併用して, GOT を 2 台接続できます。

松 珸	GOT の 2 台接続可否						
低 悝	機能バージョン A	機能バージョン B					
QJ71C24(-R2)	\bigtriangleup	0					
QJ71C24N (-R2/R4)	_	0					
LJ71C24(-R2)	0	_					

O:GOT を 2 台接続可, △:GOT を 1 台接続可, -:該当品なし

設定例 PLC 側

Qパラメータ設定			
PCネーム設定 PCシステム設定	PCファイル設定 PC RAS設定 テン	ヽ ヾイス設定 プログラム設定 ブード	77/N設定 SFC設定 [70割付設定]
2011/1 種別	川 形名	点数 先頭XY ▲	スイッチ設定
0 CPU CPU 1 0(#=0) インテリ	-	32.5 - 0000	
2 1(*-1)	•		詳細設定
3 2(*-2)	v	v	
4 3(*-3)	•	•	
5 4(*-4) 6 5(*-5)	•		
7 6(*-6)			
先頭XYIは未入力の場合PC	こが自動で割り付けます。		
先頭XYが未入力の時は知	ヮヮケでエラーとならない場合があります	t.	
- 蓥本設定(*)			43 DT. 13
ハース形名	電源ユニット形名 増設ケーフ・ル	形名 邓州鼓	○ 自劫
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			C III
1 曹晨22		-	
1曾言安3		-	8枚固定
7個百分4		-	12枚固定
10100			
1 曾言受7		-	
(*) 71.40 PL時 同一時定日	アイだすい	ZILECPUが5メータ法用 [PC-54树本山
(i) (i)/or bud([n] _solered			107 Januar
X/Y割付確認	マルチOPU設定 デフォ	ルト チェック	設定終了 キャンセル

Ľ	02271、1	ンテリショェント根	業能ユニットスイッチ設定							
						入力用	范	16〕進数	•	
	X1191	種万川	が名	メ1ッナ1	メ1ッナ2	×19 7 3	メ1ッナ4	X19 7 5 4		
0	CPU	CPU								
1	0(*-0)	1279		0700	0000			0000		
2	1(*-1)									
3	2(*-2)									
5	4(*-4)									
6	5(*-5)									
7	6(*-6)									
8	7(*-7)									
9	8(*-8)									
10	1 9(*-9)									
11	10(*-10)									
12	11(*-11)									
13	12(*-12)									
12	13(*-13)									
	4(*=14)									
				設定終了		キャンセル				



※パラメータを PLC に書き込ん	で
ください	

設定例 タッチパネル側

<mark>谱 接结继是小额定</mark>					
書 接続機器の設定					
OT 2 A 180%	,一力(<u>M</u>):	三菱電機	~		
	機種(<u>E</u>):	MELSEC-Q(マルチ)/Qモーショ	a) 🔽		
□	L/FΦ:	標準I/F(RS232)	×		
第 ルーチング情報	ドライバ(D):	A/QnA/Q CPU, QJ71C24	✓		
● 通信設定	詳細設定				(通信速度設定 計質機リンク)
	プロパティ	値			一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
	ボーレート	(BPS) 1152	00		を追加すること
Q二重化 	リトライ回日 通信タイム	(1) 0 (1) 0 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			
	送信ディレ	/時間(ms) 0			
					7
					2
<					
			ОК	キャンセル 適用(A)	
				K	3
□ GOT書込	■□ GOT読出	🛒 🗂 GOT照合			
書込データ(R): ④ プロジェク	k≓-kns (BootOS特	ひょうしょう ひょうしょう ひょうしん ひょう ひょうしん ひょう		
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	テータを進択する	*	書込チェック GOTI:主き込みができま	· .	
			001101200000000		
GOTタイプ(T): GI11:	9##-S(800x600)	×			
書込先ドライフ(型): [C内]	蔵フラッシュメモリ	~	_ 書込デーなサイズ		
			プロジェクトデータ	2 Kbyte	
□ Z 名称未設定 [Projec	:t1]	<u>^</u>	0S:	150 Kbyte	
			書込合計:	152 Kbyte 요듐+#나니 기	※通信ドライバをタッチパネル
●▼共通の設定			0Kbyte@GOT RAM&	時間にして 使用します。	
			♂書込ドライブ情報		に書き込んでください
 ✓ 週言設定/登録4 ✓ 基本機能 	6一覧				
■■通信ドライバ	2		■ データ領域:	3834 Kbyte	
■A/QnA/Q CPU,	R QJ71C24 (05.01.00	0	■ 空き領域:	5382 Kbyte	
AJ710024, MEL	0AS CO* (05.01.00 (05.01.00)	<u>u</u>			
MELSEC-FX [05	.01.00]				
MELSERVO-J3.	J2S/M (05.01.00)				
FREQROL 500/	700 [05.01.00]				
□フロジェクトフォルダ内全剤	除後書き込み(型)				
				GOT書込(G)	
		通	信設定(N) GOT情報	編取得(E) 開じる(<u>C</u>)	

参考:シリアルコミュニケーションユニット(計算機リンクユニット)の通信仕様ついて ①性能仕様

項目		仕様							
		QJ7 QJ	1C24N 71C24		QJ71C24N-R2 QJ71C24-R2			QJ71C24N-R4	
	(III)	RS-232準拠			RS-23	2準拠		RS-422/485準拠	
インタフィーフ	СНІ	(D-S	ub 9P)		(D-Su	6 9P)	(ツ-	ーピース突迫	入み端子台)
12972-2	CHO	RS-422	/485準拠		RS-23	2準拠		RS-422/48	35準拠
	CH2	(ツーピ-	- ス端子台)	(D-Su	6 9P)	(ツ-	ーピース突迫	込み端子台)
	回線			4	全二重通信/	/半二重通	信		
通信支式(ま1)	MCプロトコル交信				半二重	通信			
通1百万式(本1)	無手順プロトコル交信			4	全二重通信/	/半二重通	信		
	双方向プロトコル交信			4	全二重通信/	/半二重通	信		
同期方式					調歩同	期方式			
		QJ71C24N	(-R2/R4)]						_
		50	300	600	1200	2400	4800	9600	
		14400	19200	28800	38400	57600	115200	230400	(bps)
		 ・230400bpsは、CH1側のみ使用可能。(CH2側では使用不可) 							
		・2つのインタフェースの合計伝送速度が、230400bps以内で使用可能。							
伝送速度		 ・送受信データモニタリング機能を使用時は、2つのインタフェースの合計伝送 							
		速度が, 115200bps以内で使用可能。							
		[0J71C24 (-R2)]							
		50	300	600	1200	2400	4800	9600	
		14400 19200 28800 38400 57600 115200 - (bps)					(bps)		
		・2つのインタフェースの合計伝送速度が、115200bps以内で使用可能。							
	スタートビット				1				
データ形式	データビット	7/8							
1 1000	パリティビット	1 (垂直パリティ) /なし							
	ストップビット	1/2							
			装着局	シーケン	/サCPUのEND	処理時に1	要求分をタ	処理。	
アクセス	MCプロトコル交信	* 処理に要	するスキ	ャン回数	/リンクス:	キャン回数	は、要求	内容により	異なる。
サイクル		(リファ	・レンスマ	ニュアル	参照)				
1111	無手順プロトコル交信		送	信は送信	要求ごとに	家行,受你	は常時可		
双方向プロトコル交信					AND A1	110-11-1-1	0		
	パリティチェック	É	èプロトコ	ル対象,	あり時は奇	数/偶数を	とパラメー	タで選択。	
エラー検出	サムチェックコード		MCプロト	コル/羽	又方向プロト	コル用は,	パラメー	タで選択。	
	7 m/ m/ m/ m/	無手順プロトコル用は,ユーザ登録フレームで選択。							

			仕 様				
項目			0J71C24N 0J71C24	QJ71C24N-R2 QJ71C24-R2	QJ71C24N-R4		
				1			
				RS-232	RS-422/485		
			DTR/DSR (ER/DR) 制御	ग	否		
the state of the state			RS/CS制御	ग	否		
伝达制钾			CD信号制御	ग	否		
			DC1/DC3(Xon/Xoff)制御 DC2/DC4制御	ग	न		
			・DTR/DSR信号制御とDCコ	ード制御は選択。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
回線構成	RS-2	32	1:1	1:1	_		
(接続) (*2)	RS-4	22/485	1:1, 1:n, n:1, m:n	_	1:1, 1:n, n:1, m:n		
	RS-	MCプロトコル交信	1:1	1:1			
		無手順プロトコル交信	1:1	1:1	_		
回線構成	202	双方向プロトコル交信	1:1	1:1			
(データ交信)	RS-	MCプロトコル交信	1:1, 1:n, m:n		1:1, 1:n, m:n		
(*2)	422	無手順プロトコル交信	1:1, 1:n, n:1	_	1:1, 1:n, n:1		
	/ 485	双方向プロトコル交信	1:1		1:1		
伝送距離	RS-2	32	最大15m	最大15m	-		
(総延長距離)	RS-4	22/485	最大1200m(総延長距離)	-	最大1200m(総延長距離)		
フラッシュROM書	込み	回数	同じエリアに対して最大10万回				
入出力占有点数			32点1スロット(I/0割付:インテリ32点)(*3)				
	RS-2	32	7/0.127 □P HRV-SV 外谷	№8.5mm以上(沖電線株式会社	灶製 □部に対数を指定)		
推奨ケーブル RS=422/485		SPEV(SB)-MPC-0.2×3P 外径約6.5mm (三菱電線工業株式会社製) SPEV(SB)-0.2×3P 外径約7.5mm (三菱電線工業株式会社製) (*4)					
外部配線適合コネクタ		9ピンDサブ(オス)ネ	ジ止めタイプ(*5)	_			
DC5V内部消費電流		0. 31A	0.31A 0.26A				
外形寸法			98 (H) × 27. 4 (W) × 90 (D) [mm]				
質量			0. 20kg				

②RS232Cコネクタ仕様

\frown	
1	6
2	• 7
	8
	• 9
	\square

ピン番号	信号略号	信号名称	信号方向 C24 ◀→→ 相手機器
1	CD	受信キャリア検出	•
2	RD (RXD)	受信データ	•
3	SD (TXD)	送信データ	
4	DTR (ER)	データターミナルレディ	→
5	SG	信号グランド	← →
6	DSR (DR)	データセットレディ	•
7	RS (RTS)	送信要求	
8	CS (CTS)	送信可	
9	RI (CI)	被呼表示	•
	ピン番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9	ピン番号 信号略号 1 CD 2 RD (RXD) 3 SD (TXD) 4 DTR (ER) 5 SG 6 DSR (DR) 7 RS (RTS) 8 CS (CTS) 9 R1 (C1)	ピン番号 信号略号 信号名称 1 CD 受信キャリア検出 2 RD (RXD) 受信データ 3 SD (TXD) 送信データ 4 DTR (ER) データターミナルレディ 5 SG 信号グランド 6 DSR (DR) データセットレディ 7 RS (RTS) 送信要求 8 CS (CTS) 送信可 9 RI (CI) 被呼表示

③名称と機能

QJ71C24N-R2 QJ71C24-R2 (*2)



\searrow	名 称	内容
1	表示LED	表示LED (表示内容については(1)参照)
0	RS-232	相手機器とシリアル通信を行うためのRS-232インタフェース
2	インタフェース	(D-Sub 9P)
0	RS-422/485	相手機器とシリアル通信を行うためのRS-422/485インタフェース
3	インタフェース	(ツーピース端子台)
	RS-422/485	相手機器とシリアル通信を行うためのRS-422/485インタフェース
4	インタフェース	(ツーピース突込み端子台)
5	シリアルNo. 表示板	QシリーズC24のシリアルNo.を表示する。

④配線例

(a) CD信号(1番ピン)がON/OFFできない相手機器との接続例

①接続例1

Qシリーズ	C24側		相手機器側
信号名	ピン番号		信号名
CD	1		CD
RD (RXD)	2	+	RD (RXD)
SD (TXD)	3		SD (TXD)
DTR (ER)	4		DTR (ER)
SG	5	$\leftarrow > < \rightarrow$	SG
DSR (DR)	6	+	DSR (DR)
RS (RTS)	7		RS (RTS)
CS (CTS)	8	₄ ─┘ └─→	CS (CTS)
RI (CI)	9		

2 接続例2

Qシリーズ	C24側] [相手機器側
信号名	ピン番号		信号名
CD	1		CD
RD (RXD)	2	• • • •	RD (RXD)
SD (TXD)	3		SD (TXD)
DTR (ER)	4		DTR (ER)
SG	5	↓ 	SG
DSR (DR)	6	┝╾─┘ └─→[DSR (DR)
RS (RTS)	7		RS (RTS)
CS (CTS)	8	┝╾┙╴└╌┥	CS (CTS)
RI (CI)	9		

* 上記配線により,DTR/DSR制御,DCコード制御が可能です。

*	上記配線により,	DCコード制御が可
能	きです。	

(b) CD 信号(1番ピン)が ON/OFF できる相手機器との接続例

Qシリーズ	`C24側		相手機器側
信号名	ピン番号		信号名
CD	1	× ×	CD
RD (RXD)	2	*	RD (RXD)
SD (TXD)	3		SD (TXD)
DTR (ER)	4		DTR (ER)
SG	5	\leftarrow	SG
DSR (DR)	6		DSR (DR)
RS (RTS)	7		RS (RTS)
CS (CTS)	8	▲ ┘ └──▶	CS (CTS)
RI (CI)	9		

* CD 端子チェック設定は, 相手機器
の仕様により設定してください。
I

⑤PLC パラメータ設定

I/0 ユニット, インテリジェント機能ユニットスイッチ設定

【設定目的】

I/O ユニット,インテリジェント機能ユニットスイッチ設定は、相手機器との伝送仕様、交信プロトコルなどを設定します。

【起動手順】

[GX Developer] → [PC パラメータ] → [I/0 割付設定] →スイッチ設定

スイッチ番号			内	容		
71 11	b15	\sim	b8	b7	\sim	b0
~1 991	CHI	l通信速度設	定	CH1伝送設定		
スイッチ2	CH1交信プロトコル設定					
スイッチ3	b15	\sim	b8	b7	\sim	b0
	CH2通信速度設定 CH2伝送設定					
スイッチ4	CH2交信プロトコル設定					
スイッチ5	局番設定					

(a) 伝送設定(CH1 側:スイッチ1(下位), CH2 側:スイッチ3(下位))

b7	b 6	b5	b4	b3	b2	b1	b0					
								CH1側				
								CH2側				
1	1	1	1	1	1	1	1	ビット	内容	0FF (0)	ON(1)	備考
								- b0	動作設定	独立	連動	CH1側は必ずOFFに設定
								b1	データビット	7	8	パリティビットは含めない
								b2	パリティビット	なし	あり	垂直パリティ
								b3	奇数/偶数パリティ	奇数	偶数	パリティビットがありのときの み有効
								b4	ストップビット	1	2	_
								b5	サムチェックコード	なし	あり	_
								b6	RUN中書込み	禁止	許可	_
								b7	設定変更	禁止	許可	_

(b) 通信速度設定(CH1 側:スイッチ1(上位), CH2 側:スイッチ3(上位))

通信速度	ビット位置	通信速度	ビット 位置	備老			
(単位:bps)	b15 ~ b8	(単位:bps)	b15 ~ b8				
50	OFh	14400	06н				
300	00h	19200	07н	相手機器とのデータ交信で,			
600	01н	28800	08H	オーバーランエラー,フレーミ			
1200	02н	38400	09н	ングエラーなどの発生により正			
2400	03н	57600	ОАн	常にデータ交信できないとき			
4800	04H	115200	OBH	は,通信速度を下げてみる。			
9600	05н	230400	OCh				

設定番号 内 容 備 考 GX Developer接続 Он GX Developer通信速度,伝送仕様は自動設定。 (MELSOFT製品との接続用) 1н 形式1 形式2 ASCIIコードによる交信でA互換1Cフレーム、QnA互換2C/3C/4Cフ 2н Зн MCプロトコル 形式3 レームによる指定形式での交信用 形式4 **4**H 形式5 QnA互換4Cフレームのバイナリコード による交信用 5н 無手順プロトコル 無手順プロトコルによる交信用 6н 双方向プロトコル 双方向プロトコルによる交信用 7н CH1とCH2の各インタフェースを連動動作で使用するときCH1側に 8H 連動設定用 設定(CH2側の交信プロトコルで動作) 設定禁止 9н∼Dн ROM/RAM/スイッチテスト ユニットの自己診断テスト用 Ен 単体折返しテスト Fн ユニットの各インタフェースの動作確認用

(c)交信プロトコル設定(CH1側:スイッチ2, CH2側:スイッチ4)

(d)局番設定(スイッチ5(CH1側, CH2側 共通))

・相手機器とPLCCPUのシステム構成が1:1の接続の場合は、0を設定してください。

4. Ethernet ポート内蔵 CPU

(1) システム構成



シーケンサ		接続ケーブル	最大セグ	GOT		
形名	通信形態	'1'2	メント長 *4	オプション機器	本体	接続可能台数
MELSEC IQ-R シリーズ *10*11	Ethernet					
モーションコントローラ CPU ^{*10*11} (MELSEC iQ-R シリーズ)	Ethernet			-(本体内蔵)	ет 16 16 ет *9 14	
C 言語コントローラ (MELSEC iQ-R シリーズ)	Ethernet		100m			GOT16台
MELSEC-QnUDE(H) *5*6 MELSEC-QnUD(P)V	Ethernet	ツイストペアケーブル ・10BASE-T シールドツイストペアケーブル (STP). またけまシールドツイストペアケーブ		-(本体内蔵)	ет 16 ет 14	
*5*6		ル (UTP)のカテゴリ 3, 4, 5		GT15-J71E71-100	^{बा} 15	
C 言語コントローラ (Q シリーズ)	Ethernet	・100BASE-1X シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e	100 m	-(本体内蔵)	ет 16 ет 14	*14
				GT15-J71E71-100	°T 15	
MELSEC-L*7*8	Ethernet		100 m	-(本体内蔵)	ет 16 ет 14	GOT16台
				GT15-J71E71-100	°15	
MELSEC iQ-F シリーズ *12*13	Ethernet	 10BASE-T シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 3 以上 100BASE-TX シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5 以上 	100m	-(本体内蔵)	er 16 er 14 *9	GOT8 台

*1 ツイストペアケーブルの接続先は、使用するEthernet ネットワークシステムの構成により異なります。

使用するEthernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバ、無線LAN アダプタ

(NZ2WL-JPA, NZ2WL-JPS) などの構成機器に接続してください。

ケーブル, コネクタ, ハブは, IEEE802.3 10BASE-T/100BASE-TX の規格を満足するものを使用してください。

無線LAN アダプタの接続が可能な相手機器および無線LAN アダプタの設定方法については、使用する無線LAN アダプタのマニュアルを参照してください。

*2 ストレートケーブルが使用できます。

CPU とGOT を直接Ethernet ケーブルで接続する場合は、クロスケーブルによる接続が可能です。

*3 機能バージョンA のGT16 を,10BASE(-T/2/5) 対応の機器に接続する場合,スイッチングハブを使用して10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境 で使用してください。

*4 ハブとノード間の長さです。

最長距離は、ご使用のEthernet 機器により異なります。

リピータハブ使用時,接続可能な台数は,下記のとおりです。

・10BASE-T:カスケード接続最大4 台(500m)

・100BASE-TX:カスケード接続最大2 台(205m)
スイッチングハブ使用時、スイッチングハブ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。
制限の有無については、使用するスイッチングハブのメーカに確認してください。
*5 Ethernet ポート内蔵QCPU 側のシステム構成については、マニュアルを参照してください。
*6 GT Designer3 の[Ethernet 設定]の[機種] は、[QnUD(P)V/QnUDEH] を選択します。



(3) GOT 側の設定

○通信インタフェースを設定する(接続機器の設定)

1. [共通の設定]→[接続機器の設定]メニューを選択します。

システム

2. 接続機器の設定ウィンドウが表示され るので、使用するチャンネルをリストメ ニューから選択します。

3. 下記を選択します。

・メーカ:三菱電機

· 機種: 接続する機種にあわせて設定し てください。

· I/F: 使用するインタフェース

・ドライバン

Ethernet (MELSEC), Q17nNC, CRnD-700 Ethernet(FX), ゲートウェイ

🖫 I/F接続一覧O… ąх ₽ コメント(の) Þ 🖻 💾 接続機器の設定 📵 CH1:MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション • アラーム(<u>A</u>) ۲ 1000 CH2:未接続 1010 CH3:未接続 搢 ロギング(1)... レシピの 👊 CH4:未接続 ۲ □ 🚠 ネットワーク/二重化設定 スクリプト(S) • □ 日 Ethernet ■ 日 レーチング情報 ■ 日 ゲートウェイ at Dev デバイスデータ転送(<u>D</u>)... 状態監視(⊙)… ۲ 🐤 通信設定 ₽. トリガアクション(<u>B</u>)... ゲートウェイサーバ 器 ゲートウェイサーバ 器 ゲートウェイクライアント タイムアクション(①... <u>%</u> 🔄 ハードコピー(H)... FTP FTP MESインタフェース(M)... 「フロジェクト」のフレステム」「一画面」 Ŧ 部品(P) ۲ (J)) 音声(U) - • • - 接続機器の設定
 接続供給の設定

 ● CH 1: MELSEC-ONU/DK

 ● CH 2: 未撥然

 ● CH 3: 未撥然

 ● CH 4: 未浸蒸洗

 ● CH 4: 上浸蒸洗

 ● CH 4: 上浸添洗

 ● CH 4: 上 メーカ(M): 三菱電機 榐種(E): MELSEC-QnU/DC, Q17nD/M/NC/DR, CRnD-700 • I/F(I): 標準I/F(Ethernet):マルチ接続対応 -ドライバ(D): Ethernet(MELSEC), Q17nNC, CRnD-700 詳細設定 プロパティ GOT NET No. GOT PC №. GOT IPアドレス 192.168.3.1 登録名 サブネットマスク 255,255,255,0 デフォルトゲートウェイ Ethernetダウンロード用ポートNo. 0.0.0.0 5014 GOT 機器通信用ポート No. 5001 リトライ回数(回) 立ち上がり時間(秒) 通信タイムアウト時間(秒) 送信ディレイ時間(x10ms) < III OK キャンセル 適用(A)

| 共通の設定(M) | 図形(E) オブミ

GOT環境設定(E) 📳 接続機器の設定(N).

□ 周辺機器の設定(S)

٢M.

٠

4.メーカ、機種、1/F. ドライバを設定すると詳細設定が表示されます。 使用する環境に合わせて設定してください。

設定が完了したら"OK"ボタンをクリックします。

〇接続機器詳細設定 使用する環境に合わせて設定してください。

項目	内容		範	囲	プロパティ	値	
GOT NET No.	GOT のネットワーク No. を	設定します。	1~239		GOT NET No.	1	
	(デフォルト:1)				GOT PC No.	1	
GOT PC No.*3	GOT の局番を設定します。 (デフォルト:1)	,	1~64		GOT IPアドレス	192.168.3.1	
GOT	GOTのIP アドレスを設定	います。	0000~		登録名		
IP アドレス ^{*2}	(デフォルト:192.168.3.1	8)	255.255.25	55.255	サブネットマスク	255.255.255.0	
	サプネットワークを使用し	ている場合			デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
サブネット	に、サブネットマスクを設 (ルーク級中時のみ)	定します。	00000		Ethernetダウンロード用ポー	- <mark>トNo.</mark> 5014	
マスク ^{*2}	サプネットワークを使用し	ていない場	255.255.25	55.255	GOT 機器通信用ポート N	lo. 5001	
	合は、デフォルト値で動作 (デフォルト:255.255.25)	します。 5.0)			リトライ回数(回)	3	
		D≓7+11			立ち上がり時間(秒)	3	
デフォルトゲー	601か接続されている側の トゲートウェイのルータア	ルテノオル ドレスを設	0.0.0.0~		通信タイムアウト時間(秒)	3	
トウェイ ^{*2}	定します。(ルータ経由時) (デフォルト:0.0.0.0)	のみ)	255.255.25	55.255	送信ディレイ時間(x10ms)	0	
Ethernet	GOT が Ethernet ダウンロ	コードで使	$1024 \sim 50$ 5014 ~ 65	10,	*1 クロマケーブル	た体田 / ナ GOT と Etherr	not
ダウンロード用 ポート No.*2	用するポート No. を設定し (デフォルト:5014)	<i>、</i> ます。	(5011, 5012, 5013,				
AT 1 110.	()) , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		49153 を除	<)	ニット(0 シリース	く)を 1:1 で接続する場合	合は
	GOT が Ethernet ユニット で使用するポート No. を認	との接続			[通信タイムアウ	ト時間]を 6 秒以上に設知	定し
GOT機器通信田	· Ethernet(MELSEC), Q1	7nNC,	$1024 \sim 50$ $5014 \sim 65$	10. 534	ください。		
ポート No.	CRnD-700 の場合 (デフォルト:5001)		(5011, 50	12, 5013,	*2 設定(十 "設定"	ボタンをクリックトで「	GOT
	・Ethernet(FX), ゲートウ	49153 を除	<)		「イダンをノリノノして、」	uur	
	(デフォルト:5019)				アトレス設定」	面で行います。	
	通信がタイムアウトしたと イロ数を設定します。	きのリトラ	0~50		*3 接続機器詳細	設定で設定する「GOT PC	No.
リトライ回数	リトライ後も、応答がない	場合は通信			Ethernet 設		
	タイムアウトになります。 (デフォルト:3回)				定 で 設 定 す る 「PC	No. は、必ず異なる局番(こ設
	GOT が起動してから、シー	ーケンサ					H/A
立ち上がり時間	CPU と通信を開始するまでの時間を		3~255秒				
	設定します。 (デフォルト:3秒)				ださい。		
通信タイム	通信がタイムアウトになる	までの時間					
アウト時間 ^{*1}	を設定します。 (デフォルト:3秒)		1~90秒				
	ネットワーク / 接続先シー	ケンサの負	0 - 10000		GOT IPアドレス設定		×
达信テイレイ 時間	何を下げるための、送信テを設定します。	イレイ时間	0~10000 (×10ms)		この設定は、他のEthernetドライ	「の設定と共通の設定となります。	
	(テノォルト:Ums)				GOT IPアドレス(I):	192.168.3.1	
							Ţ
プロパティ	値	I				覧(L)	
GOT NET No.					Ethernetが向うロード田ポート	ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	
GOT PC No.					サブネットマスカ(M)	255 255 255 0	
GOT IP7 FL	ル 19	92.168.3.1		設定	デフォルトゲートウェイ(D)	0.000	-1
登録名					5 7874"7 T"JT(0).		
サブネットマス	.ク 25	5.255.255.0					
						OK ++>t	ZJU

OEthernet 設定

📲 接続機器の設定									
信 接続機器の設定 	_/0	H1							
	1	自局	N/W No.	PC No.	機種 QJ71E71/LJ71E71	IPアドレス	ポートNo. 5001	通信方式 UDP	新規(<u>N</u>) (其製(<u>L</u>) 肖印除(<u>D</u>)
 ・									すべて削除(E) すべてコピー(Q) すべて貼り付け(P)
	<	[_	_	III I		_		自局に設定(S)
							ОК	+ +>	セル 適用(<u>A</u>)

項目	内容	範囲
自局	自局を表示します。(自局に は * が表示されます。)	_
N/W No.	接続先 Ethernet ユニットの ネットワーク No. を設定しま す。 (デフォルト : なし)	1~239
PC No.*4	接続先 Ethernet ユニットの 局番を設定します。 (デフォルト : なし)	1~64
機種 *1	接続先 Ethernet ユニットの 機種を選択します。 (デフォルト: QJ71E71/LJ71E71)	RCPU, RnCCPU, FX5CPU, QnUD(P)V/QnUDEH, QnD(H)CCPU, LCPU, Q17nNC, RJ71EN71, QJ71E71/LJ71E71, AJ71QE71, AJ712F1, FX, NZ2GF-ETB
IPアドレス	接続先 Ethernet ユニットの IP アドレスを設定します。 (デフォルト : なし)	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255
ポート No. ^{*2}	接続先 Ethernet ユニットの ポート No. を設定します。 (デフォルト :5001)	1024 ~ 65534
通信方式 ^{*3}	UDP	UDP, TCP

```
*1 [ 機種] は、下記を選択します。
・Ethernet ポート内蔵(以下 CPU): RCPU
 RCPU, RnMTCPU, RnPCPU
·C 言語コントローラ
 (MELSEC iQ-R シリーズ):RnCCPU
・Ethernet ポート内蔵
  (MELSEC iQ-F シリーズ):FX5CPU
・Ethernet ポート内蔵(以下 CPU)
 : QnUD (P) V/QnUDEH
 QCPU, Q170MCPU, Q170MSCPU (-S1)
 Q173D (S) CPU/Q172D (S) CPU
・C 言語コントローラ(Q シリーズ) :QnD(H)CCPU
・Ethernet ポート内蔵 LCPU:LCPU
・Ethernet ユニット(NZ2GF-ETB):NZ2GF-ETB
•Q17nNCCPU:Q17nNC
・Ethernet ユニット(MELSEC iQ-R シリーズ):
 RJ71EN71
·Ethernet ユニット(Q, L シリーズ) :
 QJ71E71/LJ71E71
```

・Ethernet ユニット(QnA シリーズ):AJ71QE71

・Ethernet ユニット(A シリーズ):AJ71E71

・Ethernet ユニット(FX シリーズ):FX

(4) PLC 側の設定(1:1 接続の場合)
 下記に示すシステム構成時の, GOT と Ethernet ポート内蔵 CPU の設定を説明します。

〇システム構成

1:1 接続の場合, PLC 側の設定は必要ありません。GT Designer3 の[接続機器の設定], [Ethernet 設定]を設定して,接続してください。



*1 ハブ, トランシーバなどの構成機器を使用する場合の設定方法については, Ethernet ポート内蔵 CPU と接続時(複数台接続の場合)を参考にしてください。

*2 PLC 側に設定項目はありませんが、GOT 側で仮想の値を設定する必要があります。

OGX Works の[ネットワークパラメータ]	
(1) ネットワークパラメータ デフォ	ールトのまま
Q/(ラメータ設定 PCネーム設定 PCシステム設定 PCファイル設定 PC RAS設定 PCネーム設定 ア1歳Ethemetic L設定 アパイス設定 P1歳Ethemetic L設定	
- ビアドレス設定 入力形式 10.0歳数 _ オープン設定	入力形式 10進数 🗨
PPアドレス 192 168 3 93 サフストダンパパターン 約6個後定	Pアドレス 192 168 3 39
デフォルトルークBPアドレス	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
- 文信データコード設定 ・ パイナリコード文信	
「 ASCIIT」- F文信 「 RUN中書込を許可する(FTPとMCプロトコル)	
「 MELSOFICの直結接続を耕上する 「 ネットワーク上のEthement/)裏形CPU検索に広答しない	
- デパゲット中継設定	
レアパケット中間設定 必要に応じ設定(デフォルト / 支更か))	

GT Designer3 の[接続機器の設定], [Ethernet 設定]

(1) 接続機器の設定

項目	設定値(デフォルト値を使用)
GOT NET No.	1
GOT PC No.	1
GOT IP アドレス	192.168.3.1
GOT ポート No. (機器通信用)	5001
GOT ポート No. (Ethernet ダウンロード用)	5014
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
サプネットマスク	255.255.255.0
リトライ回数	3 🗆
立ち上がり時間	3秒
通信タイムアウト時間	3秒
送信ディレイ時間	Oms

(2) Ethernet 設定

Ethernet ポート内蔵QCPU, またはLCPU と接続する場合, PLC側にネットワークNo., 局番の設定項目 はありませんが, GOT 側で仮想の値を設定する必要があるためネットワークNo., 局番を設定してくだ さい。その場合, システム上で使用していないネットワークNo. を設定してください。

項	目	設定値
	自局	*
	N/W No.	1*1
Eth ann at	PC No.	2 ^{*2}
Ethernet 設定 No.1	機種	QnUDE(H), LCPU
	IPアドレス	192.168.3.39
	ポート No.	5006(固定)
	通信方式	UDP(固定)

*1 GOT N/W No. と同じ値を設定してください。 *2 GOT PC No. と異なる値を設定してください。

[接続実習課題1]

タッチパネル-PLC接続方式を、現在のバス接続方式から、Ethernet 接続方式に変更して下さい。 タッチパネルの画面は、課題4を使用してください。

※実習前に、バス接続で、使用したケーブルを取外してください。 ※タッチパネルヘデータの送信は、USB ケーブルを使用してください。





PLC側(設定なし)	デフォルトの	つまま	
	Q/f5メータ設定 PC7+/L設定 PC7+/L設定 PC7+/L設定 PC7+/L設定 100時代設定 マルタクに設定 PT#20 PT#20 101月 101月 PT#20 PT#20 101月 101日 101日 PT#20 101日 101日 101日 PT#20		
	 C ASCIII」−ド交(倉 □ RUNF+書込装計可する(マアとMCプロトコル) □ MELSOFIとの直接接続を禁止する □ ネットワーク上のEthernet内観形CPU検索に応答しない 	「IPアドレス設定 IPアドレス	入力形式 10進数 🗸
		* · · · · · · · · · · · · ·	



③通信ドライバの送信 画面データと通信ドライバを送信してください (通信ドライバは1回のみで構いません)



(5) PLC 側の設定(複数台接続の場合)

〇システム構成

下記に示すシステム構成時の, GOT と Ethernet ポート内蔵 CPU の設定を説明します。



OGX Works の[Q パラメータ], [L パラメータ]

①内蔵 Ethernet ポート設定

Q/(5メーク版注 マムーム設定 マンスラム設定 マンテイル設定 マントライル設定 ブートライル設定 ブレララム設定 ダンパス設定 マムーム設定 マンスラム設定 マンテイル設定 マンテイル設定 ブートライル設定 ブレララム設定 ダンパン設定	項目	設定値	GOT 接続時の 設定要否
10至8月18年 7/1-FOL48年 月曜年18年17月1日日 110至8月18日 11日日 11日 111 11	IPアドレス	192.168.0.1	0
- アアドレス設置 ナン決定 ナン決定	サブネットマスクパターン	-	×
1977FUス 192 186 3 393 サガネットマスクパターン	デフォルトルータ IP アドレス	-	×
ϔプォルトルークロアドレス	交信データコード設定		\bigtriangleup
- 欠信データコード設定 「 / パイガリコード文化音	RUN 中書込を許可する (FTP と MC プロトコル)	-	
□ RLNや書記を許可する(VTPとNCプロトコル) □ MELSOTIE/COILE/ABR(を書正する)	MELSOFT との直結接続 を禁止する	(デフォルト値を使用)	
「ネッシーン上のEmerelの最高にない技術になるしない	ネットワーク上の Ethernet 内蔵形 CPU 検 索に応答しない		
OBEROCHAEL 77801 (1.2020)	オープン設定	② 参照	0
	FTP 設定		\bigtriangleup

(2) オープン設定

接続している GOT の台数分の設定を行ってください。



OGT Designer3 の[接続機器の設定], [Ethernet 設定]

(1) 接続機器の設定

項目	設定値(デフォルト値を使用)
GOT NET No.	1
GOT PC No.	1
GOT IP アドレス	192.168.0.18
GOT ポート No.(機器通信用)	5001
GOT ポート No. (Ethernet ダウンロード用)	5014
デフォルトゲートウェイ	0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
リトライ回数	3 🛛
立ち上がり時間	3秒
通信タイムアウト時間	3秒
送信ディレイ時間	Oms

(2) Ethernet 設定

Ethernet ポート内蔵 CPU と接続する場合, PLC 側にネットワーク No., 局番の設定項目はありません が, GOT 側で仮想の値を設定する必要があるためネットワーク No., 局番を設定してください。その 場合, システム上で使用していないネットワーク No. を設定してください。

項目		設定値			
		1	2		
Ethernet 設定 No.1	自局	*	-		
	N/W No.	1 ^{*1}	1 ^{*1}		
	PC No.	2 ^{*2}	3*2		
	機種	QnUDE(H), LCPU	QnUDE(H), LCPU		
	IPアドレス	192.168.0.1	192.168.0.2		
	ポート No.	5006(固定)	5006(固定)		
	通信方式	UDP(固定)	UDP(固定)		

*1 GOT N/W No. と同じ値を設定してください。

*2 GOT PC No. および同一ネットワーク上の他 PLC の PC No. と異なる値を設定してください。

[実習課題 2]

タッチパネルーPLC 接続方式を、現在のバス接続方式から、Ethernet 接続方式に変更して下さい。タッチパネル1台、PLC2 台を接続します。 また、接続には HUB も使用してください。

タッチパネルの画面は、課題4を使用し、下記のようにスイッチ、ランプを変更してください。

・ビットスイッチ1に触れる度に、PLC1に接続したランプ(Y40)が点灯したり消灯したりする。

・PLC1 に接続されている押しボタンスイッチ(X0)を押している間だけ、タッチパネル上のランプ1 が点滅する。

・ビットスイッチ2に触れる度に、PLC2に接続したランプ(Y40)が点灯したり消灯したりする。

・PLC2 に接続されている押しボタンスイッチ(X0)を押している間だけ、タッチパネル上のランプ2 が点滅する。

※実習前に、バス接続で、使用したケーブルを取外してください。 ※タッチパネルヘデータの送信は、USB ケーブルを使用してください。



解答設定例 (システム構成)



PLC1 側

□₽₽ドレス設定・



	入力形式 10進数 👤						
IPアドレス	192 168 0 1	PLC2 側					
					<u> </u>		
			今回	は変更なし	[
							1
						_	



タッチパネル側

①接続機器の設定



③通信ドライバの送信 画面データと通信ドライバを送信してください (通信ドライバは1回のみで構いません)





④画面作成



②ビットランプ ランプ種類:ビット デバイス:X0 ネットワーク設定:他局 NW No.:1 PC 局番:2 ON 時画面:ブリンク 中速 ブリンク範囲:図形のみ

④ビットランプ
ランプ種類:ビット
デバイス:X0
ネットワーク設定:他局
NW No.:1
PC 局番:3
ON 時画面:ブリンク 中速
ブリンク範囲:図形のみ



[実践的FAQ 通信ドライバ]

<u>通信ドライバを自動的に書き込むことはできないか?</u>

"プロジェクトデータ、OS 一括書込"をすることで、自動的に書き込むことが可能となります。

□ ← □ 607書込 □ ← □ 607読出 □ □ 607照合	
番込アー外区・ ○フロジェクトアータ、05 ● BootOS ● 持 書込モード(M) ● フロジェクトデータ、05 ● 活書込 ▼	株データ 書込チェック GOTに書き込みができます。
GOTタイプロ: GT15**-S(800:600) マ 書込先ドライブ(): C内蔵フラッシュメモリ マ	
 □ 2名称未設定 [Project1] ● 2ペース画面 ● 2 未通過防定 ● 2 持続機器設定 ● 2 基本機能 ● 3 点信行イバ ● 1 拡張機能 ● 3 ブジョン機能 	プロジェクトデータ: 5 Kbyte OS: 3649 Kbyte ま込合計: 3654 Kbyte ※上記の含れた、デーシ解戦として のKbyteのGOT RAMを使用します。 書込ドライブ情報 ■ デーク解戦: 4970 Kbyte
「フロジェクトフォルダ内全制弊後書き」できない	 空客領域: 4246 Kbyte とが GOT書込(g)
通〔	
また、"プロジェクトデータ、OS 一括書込"を選択後に、"書込データを選択する"に変更すると、"プロジェクトデータ、OS 一括書込"選択時の書込データ内容を確認することができます。

GOTとの通信	
Contraction Contra	特殊データ
▶ プロジェクトフォルダ内全削除後書き込み ②	GOT書込(g) :通信部合AN (COTT##EETIN#(の) (日日)(ス(の))

下記の場合、通信ドライバは、Ethernet が選択されていることがわかります。

GOTとの通信	×
書込データ(B): ・ プロジェクトデータ、OS ・ BootOS ・ 特殊 	キデータ
書込モード(値): 書込データを選択する 🗸	書込チェック GOT情報即取得してください。
G0Tタイプ(T): GT15**-S(800x600)	
書込先ドライブ(型): C(内蔵フラッシュメモリ 🔽	書込データサイズ
●▼共通の設定	フロンエクトナータ: 5 KDyte OS: 3649 Kbyte
 ▽ 接続機器設定 ○ 通信設定/登録名一覧 ○ 戸本体絶 ○ 戸本合本 	書込合計: 3654 Kbyte ※上記のほかに、データ領域として OKbyteのGOT RAMを使用します。
G レ <mark>バス/ネットワーク系</mark> - ロバス接続A/onA [0523.00] - ロバス接続Q [0523.00]	書込ドライブ情報
 Ethernet(MELSEC),Q17nNC,CRnD-700 [05,23,00] MELSECNET/10 [05,23,00] 	■ データ領域: Kbyte
- MELSECNET/H [0523.00] - CO-Link IE コントローラネ・マーク [0523.00] - CO-Link IE フィールドネット - 23.00]	■ 空き領域: Kbyte
Co-tinkuty usballing Co-tinkuty wer 201 Ethernet が選	択
✓ プロジェクトフォルダ内全削除後:	GOT書込@
	設定(₩ GOT)情報取得(E) 閉じる(C)

[実践的FAQ122 通信ドライバ]

通信ドライバが送れない時があるのは? (バス接続から Ethernet 接続に切り替える場合)

通常は、通信ドライバが複数存在しても問題ないが、バス接続と Ethernet 接続は同じグループ(バス /ネットワーク系)に入っているため、2つのドライバが存在することはできない。そのため、バス接 続から Ethernet 接続に切り替える場合は、バス接続のドライバを削除後、Ethernet 接続のドライバ をインストールする必要があります。また、通信ドライバを削除する場合は、GOT 情報の読み出しを おこない確認後に削除する必要があります。

通信ドライバの確認

G0Tとの道信	X
読出データ(B): ○フロジェクトデータ ○リソースデータ ●ドライブ情報	
GOT読出データー	
読出元ドライブ型: ○内蔵フラッシュメモリ 🗸 🗸	
読出ドライフ指軸	
■ データ領域: Kbyte	
■ 空き領域: Kbyte	
GOT RAMIER	
■ データ領域: Kbyte	
■ 空き領域: Kbyte	
GOT RAM情報版こついて	
削除(L) ドライブフォーマット(E)	
通信語設定(<u>N</u>) GOT情報取(得(<u>E</u>)] 閉	U3(<u>0</u>)

GT Desi	igner3
♪	GOT情報取得時に書込チェックを行いますか? 書込チェックを行う場合はGOTがオフラインになります。 ※いいえの場合はGOTの情報のみ取得します。
	はい公 いいえ (いい) (はいい) (はい) (は

	J GOT服合
読出データ(R): ○プロジェクトデータ ○リソース:	データ
 □ 名称未設定 [Project1] [GT Designer3 Ver.1.30 ○ ペース画面 □ 通信設定/登録名一覧 □ 通信設定/登録名一覧 □ 通信設定/75 □ 通信設定/75 □ 144.概約 	GOT読出データー 読出元ドライブ型: ○C内蔵フラッシュメモリ
 ● オブジョン機能 ● BootOS [AL] 	- 読出ドライブ情報
GOT 情報が表示さ れる	■ データ領域: 4645 Kbyte
10.0	GOT RAM信報
	データ領域: 4877 Kbyte
	■ 空きず和な: 4339 Kbyte GOT RAM情報[こついて
前除() ドライブフォーマット(E)	
	通信設定(W GOT) 構築取得(E) 閉じる(C)
GOTとの通信 □→□ GOT書込 □←□ GOT読出 □ゴ [► T GOT照合
読出データ(B): ○プロジェクトデータ ○リソース	
 □ 名称未設定 [Project1] [GT Designer3 Ver.1.30 ● ペース画面 □ 通信設定/登録名一覧 ● 日基本機能 ■ 「図152740 □ 0152740 	GOT読出データ 読出元ドライブ型: Cr内蔵フラッシュメモリ
	GOT読出データ 読出元ドライブ(公): CC内蔵フラッシュメモリ 読出ドライブ情報
 ○ 名称未設定 [Project1] [GT Designer3 Ver.1.30 ○ ○ 小へつ画面 ○ ○ 前書設定/登録名一覧 ○ ○ 加書につれ、 ○ ○ パンオットワークネ ○ ○ ○ パンオットワークネ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	GOT読出データ 読出元ドライブ(登): Cr内蔵フラッシュメモリ 読出ドライブ情報 データ領域: 4970 Kbyte ・空き領域: 4246 Kbyte
 ○ 名称未設定 [Project1] [GT Designer3 Ver.1.30 ○ ペース画面 ○ 通信設定/登録名一覧 ○ パス2407-95 ○ パス接続後に削 ○ 日が3月1005 バス接続後に削 ○ 除を行ってください 	GOT読出データ 読出元ドライブ情報 ・ データ領域: 4970 Kbyte ・ 空き領域: 4246 Kbyte
 ■ 名称未設定 [Project1] [GT Designer3 Ver.1.30 ● ○ ペース画面 ● 通信設定/登録名一覧 ● 基本機能 ● ○ 加速ドライハ ● ○ 10 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	GOT読出データ 読出元ドライブ位: C内蔵フラッシュメモリ
 ● 合称未設定 [Project1] [GT Designer3 Ver.1.30 ● ペース画面 ● 通客機能 ● 25本機能 ● 21/37/29/9-25 ● 17793/ ● 17793/ ○ 1/378/062300] <	GOT読出データ 読出元ドライブ位記 ・ データ領域: 4970 Kbyte ・ 空き領域: 4246 Kbyte GOT RAM情報 ・ データ領域: 5203 Kbyte ・ 空き領域: 4013 Kbyte の GOT RAM情報版こついて
 名称未設定 [Project1] [GT Designer3 Ver.1.30 中、ペース画面 通信設定/登録名一覧 基本機能 ジョン(又なおりつタ系) ジョン(又なおりつタ系) ジョン(又なおりつタ系) ジョン(又なおりつタ系) ジョン(又なおりつタ系) ジョン(マション) バス接続後に削除を行ってください 	GOT読出データ 読出元ドライブ位報 ● データ領域: 4970 Kbyte ● 空き領域: 4246 Kbyte GOT RAM情報 ● データ領域: 5203 Kbyte ● 空き領域: 4013 Kbyte GOT RAM情報観について



GOTとの通信	X
GOT書込 GOT書込 GOT読出	I GOT 照合
読出データ(B): ○フロジェクトデータ ○リソース	スデータ ③ ドライブ情報
□ 12695未設定 Project] [GT Designer3 Ver.1.30 ● 1ペース画面 □ 通信設定/登録名一覧 ■ 2基本機能 ■ 1並現機能 ■ 1 が引く機能 ■ 5753/機能 ■ BootOS [AL]	GOT読出デ〜タ 読出元ドライブ①: ○C内蔵フラッシュメモリ
	- 読出ドライブ情報
通信ドライバの	■ データ領域: 4970 Kbyte
項目がなくなる	■ 空き領域: 4246 Kbyte
	GOT RAM情報
	■ データ領域: Kbyte
	■ 空き領域: Kbyte
	GOT RAM情報記ついて
■ 「「「「「「「」」」」 ● 「「」」 ● 「「」」 ● 「」 ● 「」	
	」 通信設定(<u>W</u>) GOT情報取得(E) 閉じる(<u>C</u>)









	シーケンサ		接続ケーブル GOT		接続ケーブル					
形名	CC-Link ユニット *1	通信形態	ケーブル形名	最長 距離	オプション機器	本体	接続可能台数			
MELSEC-O	QJ61BT11	CC-Link(Ver 1)	CC-Link 専用ケーブル	*3	GT15-J61BT13 *5	^{ет} 16 ^{ет} 15				
MELOLO Q	QJ61BT11N		*2	0	GT15-75J61BT13-Z	۹۲ 15				
C言語コントローラ	QJ61BT11 QJ61BT11N	CC-Link(Ver.1)	CC-Link 専用ケーブル *2	*3	GT15-J61BT13 *5	ी 16 ी5				
MELSEC-L	LJ61BT11	CC-Link(Ver.1)	CC-Link 専用ケーブル *2	*3	GT15-J61BT13 *5	^{ет} 16 ^{ет} 15				
MELSEC-L (L26CPU-BT)	-	CC-Link(Ver.1)	CC-Link 専用ケーブル *2	*3	GT15-J61BT13 *5	ат 16 ат 15	GOT26 台			
MELSEC On A	AJ61QBT11 A1SJ61QBT11 ^{*4}		CC-Link 専用ケープル *2		GT15-J61BT13 *5	^{ст} 16 ст 16 15				
MELSEC-QITA		CC-LINK(Vel.1)			GT15-75J61BT13-Z	^{ст} 15				
MELSEC A	AJ61BT11	AJ61BT11	AJ61BT11	CC Link(Vor 1) CC	CC-Link 専用ケーブル	CC-Link 専用ケーブル *o	*2	GT15-J61BT13 *5	^{ст} 16 15	
WELSEC-A	A1SJ61BT11*4	T11*4 *2		.2	GT15-75J61BT13-Z	ат 15				

*1 CC-Link ユニット側のシステム構成については、各種マニュアルを参照してください。

*2 CC-Link 専用ケーブルの仕様は、CC-Link 協会ホームページを参照してください。

*3 最大ケーブル総延長および局間ケーブル長は、使用するケーブルの種類、伝送速度などにより異なります。

*4 機能バージョンB, ソフトウェアバージョンJ 以降のCC-Link ユニットへのみトランジェント伝送が可能です。

*5 接続機器設定で、モード設定をVer.1 にして使用してください。

(CC-Link Ver2)



	シーケンサ		接続ケーブル		GOT		
形名	CC-Link ユニット *1	通信形態	ケーブル形名	最長 距離	オプション機器	本体	接続可能台数
MELSEC-Q C 言語コントローラ	QJ61BT11N	CC-Link(Ver.2)					
MELSEC-L	LJ61BT11		Ver.2) CC-Link 専用ケーブル *2	*3	GT15-J61BT13 *4	^{ет} 16 ^{ет} 15	GOT26 台
MELSEC-L (L26CPU-BT)	-						

*1 CC-Link ユニット側のシステム構成については、各種マニュアルを参照してください。

*2 CC-Link 専用ケーブルの仕様は、CC-Link 協会ホームページを参照してください。

*3 最大ケーブル総延長および局間ケーブル長は、使用するケーブルの種類、伝送速度などにより異なります。

*4接続機器設定で、モード設定をVer.2にして使用してください。

(2)結線図

CC-Link ユニット



(3)GOT 側の設定(CC-Link ver2)

〇通信インタフェースを設定する(接続機器の設定)

1. [共通の設定]→[接続機器の設定]メニューを選択します。

システム	Ψ×
□	~
	_
□ 🚠 ネットワーク/二重化設定	
🖳 Ethernet	
🖃 🔂 ゲートウェイ	
🐤 通信設定	
- 22 ゲートウェイクライアント	
FTP FTP	~
ロフロジェクト ロシステム 日 画面	



2. 接続機器の設定ウィンドウが表示されるので、使用するチャンネルをリストメニューから選択します。

- 3. 下記を選択します。
- ・メーカ∶三菱電機

・機種:接続する機種にあわせて設定してください。

I/F:使用するインタフェース

・ドライバ:

GT15-J61BT13 形CC-Link 通信ユニット を使用する場合

• CC-Link Ver2 (ID)

GT15-75J61BT13-Z 形CC-Link 通信ユニ

ット

を使用する場合

• CC-Link(ID)

4.メーカ, 機種, I/F, ドライバを設定すると詳細設定が表示されます。 使用する環境に合わせて設定してください。

設定が完了したら"OK"ボタンをクリックします。



O接続機器詳細設定

使用する環境に合わせて設定してください。

局番 1 伝送速度設定 0.オンライン:156kbps モード設定 Ver.1 拡張サイクリック設定 1倍 占有局数 1局占有 奥常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(Mps) 0	プロパティ	値
伝送速度設定0.オンライン156kbpsモード設定Ver.1拡張サイクリック設定1倍占有局数1局占有男常時のクリア設定クリアリトライ回数(回)3通信タイムアウト時間(か)3送信ディレイ時間(ms)0	局番	1
モード設定 Ver.1 拡張サイクリック設定 1倍 占有局数 1局占有 異常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(か) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	伝送速度設定	0:オンライン:156kbps
拡張サイクリック設定 1倍 占有局数 1局占有 異常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(秒) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	モード設定	Ver.1
占有局数 1局占有 異常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(か) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	拡張サイクリック設定	1倍
異常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(秒) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	占有局数	1局占有
<u>リトライ回数(回) 3</u> 通信タイムアウト時間(秒) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	異常時のクリア設定	クリア
<mark>通信タイムアウト時間(秒)</mark> 3 送信ディレイ時間(ms)0	リトライ回数回)	3
送信ディレイ時間(ms) 0	通信タイムアウト時間(秒)	3
	送信ディレイ時間(ms)	0

項目	内容	範囲
局番	GOT の局番を設定します。 (デフォルト :1)	1~64
伝送速度設定 *1	GOT の伝送速度とモードを設定 します。 (デフォルト :0)	0~E
モード設定	CC-Link のモードを設定します。 (デフォルト :Ver.1)	Ver.1/Ver.2/ 追加 / オフライン
拡張サイク リック設定	サイクリック点数拡張を設定しま す。 (デフォルト :1 倍)	1 倍 /2 倍 / 4 倍 /8 倍
占有局数	GOT の占有局数を設定します。 (デフォルト :1 局)	1局占有/4局占有
異常時の クリア設定	異常時にクリアする / 保持するを 設定します。 (デフォルト: クリア)	クリア / 保持
リトライ回数	通信がタイムアウトしたときのリ トライ回数を設定します。 リトライ後も、応答がない場合は 通信タイムアウトになります。 (デフォルト:3回)	0~50
通信タイムア ウト時間	通信がタイムアウトになるまでの 時間を設定します。 (デフォルト:3秒)	3~90秒
送信ディレイ 時間	ネットワーク / 接続先シーケンサ の負荷を下げるための、送信ディ レイ時間を設定します。 (デフォルト: (ms))	0~300(ms)

に示

*1 伝送速度設定

CC-Link 通信の伝送速度の設定内容を以下 します。

設定値	内容	通信タイムア ウト時間	通信がタイムアで 時間を設定します (デフォルト:3 利
0	オンライン:156kbps		ネットワーク / 排
1	オンライン:625kbps	送信ティレイ 時間	の貝何を下ける7 レイ時間を設定し
2	オンライン :2.5Mbps		(デフォルト :Om
3	オンライン :5Mbps		
4	オンライン:10Mbps		
А	ハードウェアテスト :156kbps	S	
В	ハードウェアテスト :625kbp:	S	
С	ハードウェアテスト :2.5Mbps	5	
D	ハードウェアテスト :5Mbps		
E	ハードウェアテスト:10Mbps		

(4) PLC 側の設定

下記に示すシステム構成時の、GOT とCC-Linkユニット(Ver2)の設定を説明します。



CC-Link ユニットの先頭I/O No. は, "O"に設定されています。

OCC-Linkユニット(Qシリーズ)のスイッチ設定

局番設定スイッチ、伝送速度・モード設定スイッチを設定してください。

QJ61BT11N

QJ61BT11N

・局番設定スイッチ



*1 GOT と同じ伝送速度を設定してください。

\ensuremath{OGX} Developer	の[ネットワークパラメ-
(1) ネットワー	クパラメータ

※スイッチ設定を変更した場合 PLCCPU の電源OFF \rightarrow ON またはPLCCPU のリセット 操作を行ってください。

■ ネゥトワークパラメータ CCーLink 一覧設定							
ユニット枚数 1 💌 枚 ブランク	: 設定なし						
	1						
先頭I/ONo	0000						
動作設定	動作設定						
種別	२२१%局 👻						
データリンク種別	マスタ局CPUパラメータ自動起動 👤						
モード設定	リモートネットーVer.2モード 🗸						
総接続台数	1						
リモート入力(RX0リフレッシュデハバイス	×400						
リモート出力(RY)リフレッシュデハバイス	Y400						
リモートレジスタ(RWr)リフレッシュデバイス	D300						
リモートレシュスタ(RWW)リフレッシュデバイス	D200						
Ver.2リモート入力(RX)リフレッシュデバイス							
Ver.2リモート出力(RY)リフレッシュデバイス							
Ver.29モートレジ゙スタ(RWr)リフレッシュテ゛バイス							
Ver.29モートレジ、スタ(RWw)リフレッシュテ、ハ、イス							
特殊リレー(SB)リフレッシュデバイス	SB0						
特殊レジスタ(SW)リフレッシュデバイス	SWO						
リトライ回数	3						
自動復列台数	1						
待機?スタ局番号							
CPUかりが指定	停止						
スキャンモート・指定	非同期						
デル時間設定	0						
局情報設定	局情報						
リモートディバイス局イニシャル設定	仁洲設定						
割込み設定	割込み設定						

頂 月	設定値		
74 1		の設定要否	
ユニット枚数	1	0	
先頭 I/O No. ^{*1}	0000н	0	
動作設定	(デフォルト値を使用)	\bigtriangleup	
種別	マスタ局(固定)	0	
モード設定	リモートネット - Ver.2 モード	0	
総接続台数	1	0	
リモート入力 (RX) リフレッシュデバイス	X400	\bigtriangleup	:必
リモート出力 (RY) リフレッシュデバイス	Y400	\bigtriangleup	
リモートレジスタ (RWr) リフレッシュデバイス	D300	\bigtriangleup	必要に
リモートレジスタ (RWw) リフレッシュデバイス	D200	\bigtriangleup	応じて
特殊リレー (SB) リフレッシュデバイス	SB0	\bigtriangleup	設定
特殊レジスタ (SW) リフレッシュデバイス	SWO	\bigtriangleup	不要
リトライ回数		\bigtriangleup	
自動復列台数		\bigtriangleup	
待機マスタ局番号		×	
CPU ダウン指定	(テノオルト個を使用)	\bigtriangleup	
スキャンモード指定		\bigtriangleup	
ディレイ時間設定		\bigtriangleup	
局情報設定	(b) 参照	0	
リモートデバイス局 イニシャル設定	(デフォルト値を使用)	×	
割込み設定		×	

(2)局情報

CC-Link 局	情報 ユニット 1													×
合数/局番	局稅別		拡張サイクリ 設定	55	占有局数	T	同小于U 成数		予約/無久 指定	15	インデリション 送信	▶用バッフォ 受信	<u>につい</u> 自動	-
1/1	Ver24079972017	%イス辰 -	1倍設定	- 1	局占有	- 32,¢	ī.	*	設定なし	-	64	64	128	-
	. <u>†</u> .2306	7	±7)		EA	定終了		L	却也	ı				

項 目 ^{*1}	設定値	GOT 接続時 の設定要否
局種別	Ver.2 インテリジェント デバイス局 (固定)	0
拡張サイクリック設定 ^{*2}	1 倍設定	0
占有局数 *2	1局占有	0
リモート局点数	32 点 (固定)	0
予約 / 無効局指定	設定なし	0
インテリジェント用 パッファ指定(ワード)	(デフォルト値を使用)	×

O: 必要 Δ : 必要に応じて設定 × : 不要

*1 CC-Link ユニットの[モード設定]が[リモートネット-Ver.2 モード]の場合は, [リモート局 点数]が設定可能になります。

[リモート局点数]は、リモートI/0 局用の設定です。
 GOT は、デフォルト値(32 点)を使用してください。
 *2 GOT と同じ設定としてください。

※ネットワークパラメータを変更した場合 ネットワークパラメータをPLCCPU に書込み後, PLCCPU の電源OFF → ON またはPLCCPU のリセット操作を行ってください。 (3) 占有局数について

占有局数は, GOTが使用するリンクデバイス(RX/RY/RWw/RWr)の点数を決めるための設定です。 GOTとCC-Linkユニット間のサイクリック伝送で、リンクデバイスの点数を多く使用したい場合は、占 有局数を4 局占有に設定してください。

1 局占有および4 局占有時のリンクデバイスの点数を下記に示します。

CC-I	Link	ver2
------	------	------

	拡張サイクリック設定								
リンク	1倍	設定	2倍	2倍設定		設定	8倍	8倍設定	
デバイス	1 局 占有	4 局 占有	1 局 占有	4 局 占有	1 局 占有	4 局 占有	1 局 占有	4 局 占有	
リモート 入力(RX)	32 点	128 点	32 点	224 点	64 点	448 点	128 点	896 点	
リモート 出力 (RY)	32 点	128 点	32 点	224 点	64 点	448 点	128 点	896 点	
リモート レジスタ (RWw)	4 点	16点	8点	32 点	16点	64 点	32 点	128 点	
リモート レジスタ (RWr)	4点	16点	8点	32 点	16点	64 点	32 点	128 点	

CC-Link ver1

いいたごがくつ	占有局数			
リンクテハイス	1 局占有	4局占有		
リモート入力 (RX)	32 点	128 点		
リモート出力 (RY)	32 点	128 点		
リモートレジスタ (RWw)	4 点	16 点		
リモートレジスタ (RWr)	4 点	16 点		

〇マスタユニットに対する入出力信号

GOT の入出力信号の割付けを下記に示します。

入出力信号は, 設定する占有局数(1 局/ 4 局)により異なります。 表中の n は局番設定によりマスタユニットに割り付けられたアドレスです。

信号方向:GOT →マスタユニット						
	デバイ	スNo.				
	拡張サイクリ	ノック設定 * ¹		信日女社		
1 倍	設定	2倍	設定	信专省协		
1 局占有	4 局占有	1 局占有	4局占有			
RXn0 ~ RXnF	RXn0 ~RX(n+6)F	RXn0 ~ RXnF	$RXn0 \sim RX(n+C)F$	ユーザエリア		
RX(n+1)0 ~RX(n+1)A	RX(n+7)0 ~RX(n+7)A	RX(n+1)0 ~RX(n+1)A	$RX(n+D)0 \sim RX(n+D)A$	使用禁止		
RX(n+1)B	RX(n+7)B	RX(n+1)B	RX(n+D)B	リモート READY フラグ * ²		
RX(n+1)C ~RX(n+1)F	RX(n+7)C ~RX(n+7)F	$RX(n+1)C \sim RX(n+1)F$	$RX(n+D)C \sim RX(n+D)F$	使用禁止		

信号方向:GOT→マスタユニット						
	デバイ	スNo.				
	拡張サイクリ	ノック設定 * ¹		信日女社		
4 倍	設定	8倍	設定	后方右你		
1 局占有	4 局占有	1 局占有	4局占有			
$RXn0 \sim RX(n+2)F$	RXn0 ~RX(n+1A)F	$RXn0 \sim RX(n+6)F$	$RXn0 \sim RX(n+36)F$	ユーザエリア		
RX(n+3)0 ~RX(n+3)A	$RX(n+1B)0 \sim RX(n+1B)A$	RX(n+7)0 ~RX(n+7)A	RX(n+37)0 ~RX(n+37)A	使用禁止		
RX(n+3)B	RX(n+1B)B	RX(n+7)B	RX(n+37)B	リモート READY フラグ* ²		
RX(n+3)C ~RX(n+3)F	RX(n+1B)C ~RX(n+1B)F	RX(n+7)C ~RX(n+7)F	RX(n+37)C ~RX(n+37)F	使用禁止		

信号方向:マスタユニット→ GOT						
	信日女社					
1 倍	16万-百称					
1 局占有	4 局占有	1 局占有	4 局占有			
RYn0 \sim RYnF	$RYn0 \sim RY(n+6)F$	RYn0 ~ RYnF	$RYn0 \sim RY(n+C)F$	ユーザエリア		
$RY(n+1)0 \sim RY(n+1)F$	RY(n+7)0 ~RY(n+7)F	$RY(n+1)0 \sim RY(n+1)F$	$RY(n+D)0 \sim RY(n+D)F$	使用禁止		

信号方向:マスタユニット→ GOT						
	年日 夕北					
4 倍	設定	16亏冶称				
1 局占有	4 局占有	1 局占有				
RYn0~ RY(n+2)F	RYn0~ RY(n+1A)F	RYn0~ RY(n+6)F	RYn0~ RY(n+36)F	ユーザエリア		
RY(n+3)0 ~ RY(n+3)F	$RY(n+1B)0 \sim RY(n+1B)F$	RY(n+7)0 ~RY(n+7)F	RY(n+37)0 ~RY(n+37)F	使用禁止		

* 1 CC-Link のモード設定がVer.1 の場合, 拡張サイクリック設定はできません。 (1 倍設定に固定 です)

* 2 リモートREADY フラグは、GOT 電源投入時、ハードウェアリセット時、GOT が動作可能な状態に なったときON します。

GOT の電源が投入されていても,オフライン操作時(OS インストール中,画面データダウンロード中), イニシャル処理実行中はOFF します。

CC-Link のマスタ局からの書込み/読出し時のインタロック回路用に使用してください。

Oリモートレジスタの割付け

GOT のリモートレジスタの割付けを下記に示します。 リモートレジスタは、設定する占有局数(1 局/4 局)により異なります。 全エリアがユーザ領域となります。 表中のm,n は局番設定によりマスタユニットに割り付けられたアドレスです。

アドレス 拡張サイクリック設定 *³ デフォルト 値 授受方向 内 容 1 倍設定 2 倍設定 1 局占有 4局占有 1 局占有 4局占有 マスタ局 ユーザ書込 RWwm~ RWwm~ RWwm~ RWwm~ 0 RWwm+3 RWwm+F RWwm+7 RWwm+1F みエリア GOT GOT ユーザ読出 RWrn~ RWrn~ RWrn~ RWrn~ 0 Ŧ しエリア RWrn+3 RWrn+F RWrn+7 RWrn+1F マスタ局

		アド					
+** c7 + c4		拡張サイクリ		ಹಾ	デフォルト		
按文力回	4倍	設定	8 倍設定			†	値
	1 局占有	4 局占有	1 局占有	4 局占有			
マスタ局 ↓ GOT	${ m RWwm} \sim { m RWwm+F}$	RWwm ~ RWwm+3F	${ m RWwm} \sim { m RWwm+1F}$	RWwm ~ RWwm+7F	ユーサ みエリ	『書込 ア	0
GOT ↓ マス夕局	RWrn ~ RWrn+F	RWrn ~ RWrn+3F	RWrn ~ RWrn+1F	RWrn ~ RWrn+7F	ユーサ レエリ	『読出 ア	0

* 3 CC-Link のモード設定がVer.1 の場合, 拡張サイクリック設定はできません。 (1 倍設定に固定です)



PLC 側

□ ☆ (ブロンシェクト未設定) ① + ● 2 0/54	ネットワークハウメータ選択 🛛 🔀
田-智 デバイスコメット ローダ パラメータ - 愛 PCパラメータ - 愛 PCパラメータ	Ethernet/OC IE/MELSEONET
	MELSECNET / MINI
「「「」 「「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	CC-Link
- 『 デハイスネ刀期値	<u>キャンセル</u>

ユニット枚数 1 💌 枚 フランク	: 設定なし
	1
先頭I/ONo	0000
動作設定	動作設定
種別	77,5局 🗸
データリンク種別	マスタ局CPUパラメータ自動起動 👤
モード設定	ՍモートネットーVer.2モード 🛛 👻
総接続台数	1
リモート入力(RX0リフレッシュデハ・イス	X100
リモート出力(RY)リフレッシュデハ・イス	Y120
リモートレジジスタ(RWr)リフレッシュデンバイス	D100
リモートレシ゛スタ(RWWW)リフレッシュテ゛ハ゛イス	D200
Ver.29モート入力(RX)ソフレッシュデバイス	
Ver.29モート出力(RY)リフレッシュデドルドイス	
Yer.29モートレジ スタ(RWr)リフレッジュデ バイス	
Yer.27th/V/X9(KWW)7/099277114X	580
1日97年7月1日3日777月77日777日7	300
1付9末レクス34340クレククロノバイス	3000
白新行到小板	3
日期川坂2月日東X 注脳っつり日来号	· · · · ·
このアリカルを	
デル時間設定	0 •
局情報設定	局情報
リモートデルドな局にシ列設定	イジョル語の定
割込み設定	割込み設定
•	- PROVIDENCE
	- 未設定 / 設定済み)

П				拡張サイク	リック	占有		99	一局		予約/無効	侷	インテリジェン	ト用ハッファ打	能定(ワード)	•
	台数/局番 1/1	<u> 局種別</u>	NoR 1	設定 1倍設定	-	局数 1局占有	•	, 32点	点数	•	<u>指定</u> 設定なし	•	送信 64	<u>受信</u> 64	<u>自動</u> 128	-
																_
		÷⊃+1Lk		£ック	1	5	定	終了	1		キャンカル	,	1			
		7 74041		-//			~~=			-	117 61					

X

タッチパネル側



割り付け表



[実践的FAQ 通信状態の確認]

LED 等で通信状態の確認をすることはできないか?

通信状態の確認はできます。タッチパネル側、PLC 側の LED にて確認してください。

〇タッチパネル側



CC-Link 通信ユニットの状態または通信状態を表示します。 LED 点灯状態は、通常モード、エラーモードの2 種類の表 示形式となっています。

(1) 通常モード

通常モードにおいて通信エラーなどが発生した場合, ユー ティリティの「ネットワークユニット状態表示」画面から エラーを判別してください。

「ネットワークユニット状態表示」画面については、使用 するGOT の本体取扱説明書を参照してください。

(2) エラーモード

RUN LED 点滅時, LED表示形式はエラーモードとなります。 エラーモードにおいてエラーが発生した場合, GOT を再起 動してください。GOT を再起動してもエラーモードが解除 されない場合, システムアラーム "460 通信ユニットが異 常です。"が発生している可能性があります。

LED 名称	状態	内容
RUN	消灯	GOT リセット中
RON	点灯	ユニット正常
	消灯	正常
	点灯	全局交信異常
ERR.	点滅	交信異常局あり. または局番号が 重複している。
SD	消灯	データ未送信. GOT リセット中
	点灯	データ送信中
RD	消灯	データ未受信. GOT リセット中
	点灯	データ受信中
LED 名称	状態	内容
DUN	点滅	エラーモードで あることを示す。
RON	点灯 消灯	エラーなし
ERR.	消灯	起動エラー未発 生
	点灯	起動エラー発生
RD	消灯	ハードウェア異 常未発生
	点灯	ハードウェア異 常発生

OPLC側

マスタ局の LED 表示が、下記の LED 表示状態になっていることを確認してください。





※RUN、L RUN、MSTLED が点灯して いるかを確認してください ※状況により SD, RD の LED が点 灯します

[実践的FAQ123 通信状態の確認]

GXDeveloper (ソフトウェア) で通信状態の確認をすることはできないか?

Oシステムモニタ[診断]→[システムモニタ] を選択します。

診断(<u>D</u>)	ツール(①	ウィンドウ(₩)	^#7°(
PCi诊断	f(<u>P</u>)					
Etherne	et診断(<u>E</u>)					
CC IE (CC IE Controli診断(<u>G</u>)					
MELSECNET語診断(N)						
CC-Lin	ik / CC-Li	ink/LT 診断()	2			
システムモ	二久(<u>S</u>)					
オンライン	ユニット交換	(<u>O</u>)				



OCC-Link 診断

[診断]→[CC-Link / CC-Link/LT 診断]

診断(<u>D</u>)	ツール(工)	ሳብ≻ኮን₩)	_∿⊮7°(
PC診断	i (<u>P</u>)		
Etherne	:t診断(<u>E</u>)		
CC IE (Controli診り	ர <u>(G</u>)	
MELSE	CNET診断	i (<u>N</u>)	
- CC-Lin	k / CC-Li	nk/LT 診断@	<u>)</u>
システムモ	_\$(<u>S</u>)		
オンライン	ユニット交換	(<u>O</u>)	

CC-Link/CC-Link/LT 診断		X
自局モニタ *		- 対象ユニット指定
自局	リンクスキャンタイム	
自局データリンク状態	最大 ms	④ ユニットNo. 1枚目 ▼
自局動作状態	最小 ms	C 1/07F1/2
マスタ局切り替え状態	現在ms	□ CC-Link7リッジ
使用回線		局番
CH.0側回線状態		ーネットワークテスト
CH.1 (則回線状態		データリンク起動
回線種別	他局モニタ	デーカリンカ(言)し
		7 - M9/N9IL
		于一切里的台
実行 実行		エーが高ル
設定情報取得後にデバイステストにてYnAをONすることで取	得した情報を	C= ATTILL
EEPROMへパラメータとして設定することができます。		閉じる

CC-Link / CC-Link	/LT 診断		×
自局モニタ 自局 自局データリンク状態 自局動作状態 マスタ局切り替え状態 使用回線 CH0側回線状態 CH1側回線状態 回線種別	マスタ局 データリンク中 正常 マスタ局 OH.0 正常 F ジイスト/一重/バス	リンクスキャンタイム 最大 2 ms 最小 2 ms 現在 2 ms 回線テスト 他局モニタ	対象ユニット指定 CC-Link ・ ユニットNo. 1枚目 ▼ ・ レ/Oアト*レス CC-Linkフジッジ・ 局番 データリンク起動 デ*ータリンク停止
設定情報取得 実行 設定情報取得後に EEPROMへパラメータ	実行結果 「ハイステストニてYnAをONすることで現 として設定することができます。	収得した情報を	モニ対開始合 (モニ対停止) 閉じる

[実践的FAQ124 デバイスの設定(CC-Link)]

<u>通信は確立できたが、スイッチのデバイス番号はわからない。どのように設定すればよいか?</u>

局番切り換え用のデバイスを設定する(接続機器の設定)必要が出てきます。

GOTでは局番切り換えデバイスを使用して、モニタ先の局番の切り換えを行います。

局番を切り換えることで、ネットワークに同じ制御を行う機械が複数接続されているシステムの場合、 機械の台数分だけモニタ画面を作成しなくても、局番切り換えにより同じモニタ画面で複数の機械を モニタできます。設定するオブジェクト点数を減らすことができるので、GOTの内蔵メモリを節約でき ます。局番切り換えは、GOTがモニタできる局番に対して可能です。

○局番の切り換え

GOTは、局番切り換えデバイスに格納されている値の局番をモニタします。 局番切り換え時、GOTに表示されている図形、オブジェクトは再描画されます。



局番の指定方法には下記の2種類があり、どちらの方法で局番を切り換えても、局番切り換えデバイス に局番が格納されます。

- · 局番切り換えデバイスに局番を格納する
- ・タッチスイッチ(局番切り換えスイッチ)で局番を切り換える

(1) 局番切り換えデバイスに局番を格納する

下記の値を局番切り換えデバイスに格納すると、局番切り換えを実行します。

・データリンクシステム(MELSECNET/B, (Ⅱ)), CC-Link システムにGOT を組み込んでいる場合



・ネットワークシステム(MELSECNET/H, MELSECNET/10), Ethernet システムにGOT を組み込んでいる 場合



(2) タッチスイッチ(局番切り換えスイッチ)で局番を切り換える

局番切り換え専用のタッチスイッチをタッチして、局番を切り換えることができます。

<eyi> CHI HELSEC-OnU/DC, Q17nD/H/NO/DR, CRnD-700</eyi>	X
788 0000 0 0 788 0 0 0 123 0 0 0 71/72500496	1899 5690 1990 1997 1997 1997 1997 1997 1997 19
RJIDyd. 0 0 819550 00 0	
- ネットワーク設定 CPU号録 0 章 ⓒ 自局 ○ 包間 NW No: 0 ま POR番 0	Е
0	++:/tzik

ネットワーク設定 モニタ先の接続機器の局番を設定します

CPU 号機:接続機器の CPU 号機番号を設定します。

- (a) モニタ先がシングルCPU システムの場合0 を設定してください。
- (b) モニタ先がマルチCPUシステムの場合
 モニタ先がマルチCPUシステムの場合、[CPU号機]には、0~4を設定してください。
 [CPU号機]に0に設定した場合、接続方法によりモニタ先が異なります。

自局:自局の接続機器をモニタする場合に選択します。

他局:他局の接続機器をモニタする場合に選択します。 選択後,モニタする接続機器のネットワークNo.と局番を設定します。 NW No.:ネットワークNo. を設定します。 PC 局番:局番を設定します。

<u>CC-Link の場合</u>

<u>NW No. →0</u>

PC 局番→0(マスタ局の場合、ローカル局の場合が設定番号)

例1) タッチパネル上のスイッチをON すると(X100)、PLCの X100 が ON する

※自局指定の場合

①ビットスイッチを X100 に設定 → 動作しない



<ビット> CH1 MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション	×
デバイス X ● 0100 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
 ネットワーク設定 CPU号機: ① ● 自局 ○他局 NW No: ○ ○ PC局番: ○ 	
OK キャンセル	



	<ビット> CH1 MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション	K
" R" が彳		
	Rブロック: 0 BM先頭: 00	
	ネットワーク設定 CPU号機: 0 ◆ ●自局 ○他局 NW No: 0 ◆ PC局番: 0 ◆	
	 OK キャンセル	

<u>今回の場合、CC-Link 局番1、1局指定のため、RX の範囲は RX0~RX1F までとなっている。タッチパネルの場合、"R"のデバイスは設定できないため、X0~X1F が範囲設定となる。</u> また、サイクリック通信のため、通信速度が速い。



ビットスイッチ	×
基本設定 詳細設定 /デバイス* スタイル 文字 /拡張機能	
スイッチ機能 デバイス(型): 0-0 X0100 動作設定 - ・	
ランブ機能(図形/文字の変更タイミング) ・ ・ キータッチ状態(公) *キータッチ状態とデバイスを組み合わせて使用する場合は、 「ビットのON/OFF」または「ワードの範囲」を選択してください。 ・ ・ ・ ワードの範囲」を選択してください。	
名称: ランプへ変換 OK キャン	tu I

<u>※他局指定の場合、CC-Link ケーブルを用いて通信を行っているだけで、CC-Link のバッファメモリ</u> 等は使用していない。よって、CC-Link のバッファメモリ範囲外(リフレッシュする範囲は通信でき ない)でのみ、通信が可能である。今回の場合、X0~X1F は、他局指定はできないことがいえる。 RY, RWw, RWr も同様である。

CC-Link 通信と異なるため、デバイスの範囲の制約がないが、通信速度は遅くなる(とらんジェント 伝送)点に注意をしてください。

<ピット> CH1 MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション	
デバイス X ● 0100 ● b ● C ■ 説明 7 8 9 D E F 4 5 6 A B C 1 2 3 ※CC-Link の場合 Back CL CPU 号機:0 NW No.:0 は固定 - 頭 00 ◆ 00 ◆ 00 ◆ 00 ◆ 00 ◆ 00 ◆ 00 ◆	タッチスイッチを ON し、GXDeveloper にて モニタしてください
- ネットワーク設定 CPU号機: 0 ♀ ● 自局 ● 他局 NW No: 0 ♀ PC局番: 0 ♀ OK キャンセル	
	スイッチ X100

□ デバイスーも	£₹_\$-2	
デバイス: X100	モロ外形式: ・ビット&ワード 表示: ・ 16ビット整数 数値: ・ 10進 ビット多点 ・ 32ビット整数 ・ 16進 ・ワート多点 ・ 実数(単猪度) ・実数(倍粘度) ・ ・	T/C設定値 参照7口かうム MAIN ▼ モニ外開始 モニ外開始
<u>ቻ[*] በ* ተአ</u> X100 X110	+FEDC +BA98 +7654 +3210 0000 0000 0000 0000 0 0000 ●000 0000 0	
X130 X140	0000 0000 0000 0000 0000 0 0000 0000 0	デバイステスト



例2) PLC で Y120 を ON すると、タッチパネル上のランプ (Y120) が ON する。

①ビットスイッチを Y120 に設定 → 動作しない

※自局指定の場合













<ビット> CH1 MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション	X
デバイス Y ● 0000 ♥ ▷ ○ ♥ ○ ♥ ○ ♥ ● ○ ♥ ● ○ ♥ ● ● ♥ ● ● ♥ ● ● ♥ ● ● ♥ ● ● ♥ ● ● ♥ ● ● ♥ ● ● ♥ ●	説明 【種別】 BIT 『範囲】 デバイス: 0000-1FFF
-ネットワーク設定 CPU号機: 0 ◆ ●自局 ○他局 NW No: 0 ◆ PC局番: 0	×
ОК	キャンセル

③ビットスイッチを Y120 NW No:0、PC 局番:0 →動作する



ピットランプ	×
基本設定 詳細設定 /デバイス/スタイル* 文字	
ランブ種類①: ○ビット ○ワード デバイス(①: □-0 Y0120] ● OFF ○ ○ ON ○ ○ Image: State of the state o	
名称 スイッチへ変換 OK キャンセル	

<どット> CH1 MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション		X
デバイス Y ♥ 0120 ↓ 0 ↓ 7 8 9 D E F 4 5 6 A B C 1 2 3 0 Back CL デバイスコンント参照 Rブロック: 0 ♥ BM先頭: 00 ↓	説明 【種別】 BIT 『範囲】 デバイス: 0000-1FFF	
ネットワーク設定 CPU号機: 0 〇 自局 ④ 他局 NW No: 0 文	PC局番: 0 🗘	GXDeveloper のデバ
	OK キャンセル	イステストを実施し
	付録_106	て、ランプが点灯する かを確認してください

デパイステスト	
ービットデハドイス デハドイス 	
強制ON	進制 OFF 強制ON/OFF反転 美行結果非表示
᠆᠋᠋᠋᠋᠆᠆ᢣ᠋᠂ᡔ᠋ᢆ᠉ᡩᡘᡔ᠕᠉ᡔᡒᡘᠯ	ey
	▼ 小先頭 レス ▼ 16進 ▼
設定する値	10進 ▼ 16ビット整数 ▼ 設定
- プログラム指定 - ラベル参照プログラム	名
実行結果 デバイス	
	次検索
	再設定 クリア



例3) PLC で D200 に数値を入力すると、タッチパネル上の数値表示に表示される。

①数値表示 D200 に設定する → 動作しない

¹ 23456 数值表示 D200
基本設定 詳細設定 「アパイス/スタイル* 表示範囲 「拡張機能 (表示/動作条件)(演算/スクリプト) 種類 ● 籔値表示(例) ● 籔値表示(例) ● 数値入力(0) デパイス(D): D200 ・ データ形式(④): 符号付き10.4世数 マーン・ 表示形式(F): 符号付き10.4世数 ● ● (棟 × 縦) ● ● (棟 × 縦) ● ● (○を付加する(0) 小技術設(血): ● ● ● 小技術設自動調整(少) 書式文字列(0): ●
図形設定(通常) 図形(地: なし、 ● 図形… 数値色(D): ● □反転表示(S) ブリンク(D): なし ● □反転表示(S) 数値(D): 123456 ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
<符号付きBIN16> CH1 MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション デパイス ② ② ③ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
 ネットワーク設定 CPU号機: ① ◆ ③ 自局 ○ 他局 NW No: ① ◆ PC局番: ① ◆ OK キャンセル
②数値表示 D200 NW No:0、PC 局番:0 →動作する

2000 人工 数値表示	8456 ¹
鼓 值表示	×
基本設定 /デバイス/スタイル*	
デバイス(<u>D</u>): 0-0 D	200 · データ形式(A): 符号付きBIN16 · ·
表示形式(<u>F</u>):	符号付き10進数 フォント① 16ドット標準 ▼
数値サイズ(2):	3 v x 5 v (横 x 縦) 回画印に表示する数値をアスタリスクで表示する
表示桁数(<u>G</u>):	6 ◆ □0を付加する@ 揃え心 臣」 臣」 □
小数桁数(N):	□ ◆ 小数桁数自動調整(_)
書式文子列(①):	
区形設定(通常)— 区形(出):	
ー 数値色(Q): ブリンク(<u>K</u>):	● 反転表示(S) なし、 ▼
名称:	OK キャンセル

<符号付きBIN16>	GH1 MELSE	C-Q(マルチ)/Qモーション	,	
デバイス アバイスコンジ	200 7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	b 0 \$\$ D E F A B C Back CL	1次8月 【雅賀川】 ゆのRD てがイス: 0-32767	
ネットワーク設定 CPU号機 0 〇自局	 ◆ ● 他局 	NW No: 0 🗘	PC局番: 0 🔹	21/

例4) タッチパネル上の数値入力(D100)にて数値を入力して、PLCでD100に数値が入力される。



/ <u>デバイス/</u>	基本設定 スタイル* 入力範	囲 (表示範囲)	/拡張機能 / 表示	詳細設定 2/動作条件 / 演算	音/スクリプト
種類	○對值表子(P)	 ● 新宿大子 	575		
≛^ デバイス(D): 0-0 D100		1990 データ形式(A): 符号付きBIN	116
表示形	式(E): 符号付	き10)進数	マオント(D: 16ドット標準	~
数値サ	イズ(Z): 3 💽	× 5 💌	(横×縦) □ 画面	に表示する数値を	アスタリスクで表示する
表示桁	数(<u>G</u>): 6	🔹 🗌 0を付か	ロする(0) 揃え(D: EE	
小数桁	鼓(<u>N</u>): 0	🔹 🗌 小数桁	数自動調整(J)		
支行書	字列(0):				
図形設定(通常)				プレビュー
13173(<u>H</u>	1/- 73U			<u>► (Kitter</u>	1004E0
對債色	(C):	▼ □ 反転表	(S)		123456
ブリング					數值(V):
					123456
称:					OK キャンセル
称:					OK キャンセル
称: 守号付きB	3IN16> CH1 M	ELSEC-Q(マル	チ)/Qモーション		OK キャンセル
称: 符号付き デバイス -	BIN16> CH1 M	ELSEC-Q(ج)اب	チ)/Qモーション		OK キャンセル 説明
称: 市号付きE ·デバイス - D	BIN16> CH1 M	ELSEC-Q(7))	≠)/Qቺ−୬ョン		OK キャンセル 説明 【種別】
称: 	31N1 6> CH1 M	ELSEC-Q(7),	チ)/Qモーション , 0 E F		OK キャンセル 説印月 【種野J】 WORD 【範囲】 デデバイス:
称:	31N16> CH1 M ▼ 100 7 8 4 5 1 2	ELSEC-Q(₹), 9 D 6 A	€)/Qቺŷョ) , 0\$ EF BC		OK キャンセル 説明月 【種別】 WORD WORD 「知日 デバイス: 0-32767
称:	3IN16> CH1 M ▼ 100 7 8 4 5 1 2 0	ELSEC-Q(マ),	ƒ)/Qቺ~⊅ョン , 0 ≎ E F B C		OK キャンセル 説明 【種別】 WORD 【範別】 デバイズ: 0-32767
森 新号付き日 デバイス - D	3IN16> CH1 M 100 7 8 4 5 1 2 0	ELSEC-Q(マ)) 9 D 6 A 3 Back	f)/QT-ýaý , 0 ≑ E F B C CL		OK キャンセル 説印月 【種気り】 WORD 【範囲】 デジバイス: 0-32767
森 許号付き デバイス -	31N1 6> CH1 M ▼ 100 7 8 4 5 1 2 0 2⊐x2+参照_	ELSEC-Q(7), 9 6 8 Back	\$)/Qቺ-ŷ₃)		OK キャンセル 説印月 【種野1】 WORD 【新聞3】 デゴバス: 0-32767
称:	BINT6> CHT M ▼ 100 7 8 4 5 1 2 0 R⊐x2F参照_	ELSEC-Q(7) 9 D 6 A 8 Back	€)/Qቺŷョ) , 0≎ E F B C CL		OK キャンセル
称: 市号付き: デバイス - アバイフ	31N16> CHI M 「100 7 8 4 5 1 2 0 スコメント参照」	ELSEC-Q(マル) 9 0 6 A Back BM先顕	J)/QT->∃> , 0		OK キャンセル 説明 【種別】 WORD 【範囲】 デバイス: 0-32767
称: デデバイス - 「 「 デバイス - 「 アバイス - 「 ア バイス - 「 ア 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	3IN16> CH1 M 「100 7 8 4 5 1 2 0 スコメント参照」 ック: □ 〕	ELSEC-Q(マル) 9 D 6 A 3 Back BM先頭	f)/QE->∋> , 0		OK キャンセル 説印月 【種写り】 WORD 【範囲】 デジィス: 0-32767
称: デ 号 付き E デ バ イス - D (デ) バ イス ア 、 ア 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	3IN1 6> CH1 M (100) 7 8 4 5 1 2 0 2コメント参照 ック: 0 章 特徴定 ・ 様 0 章	ELSEC-Q(マル 9 D 6 A 8 Back BM先顔	<pre> #)/QE->>=></pre>		OK キャンセル 説印月 【種野J】 WORD 【新聞】 デザリンイス: 0-32767
称:	3IN16> CH1 M ▼ 100 7 8 4 5 1 2 0 2コメント参照 >防定 	ELSEC-Q(マル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<pre> #)/QE->>>> p ① p ② E F B ○ CL 00 \$ 0 \$ 0 \$ 0 \$ 0 \$ 0 \$ 0</pre>	PC局番: 0	OK キャンセル 説明 【種野!】 WORD 【範囲】 デバイス: 0-32767
称:	3IN16> CH1 M 7 8 4 5 1 2 0 2コント参照 7 7 8 0 2 7 8 0 2 7 8 0 2 7 8 0 2 7 8 0 2 7 8 0 2 7 8 0 2 0 2 7 8 1 2 0 2 0 2 7 8 1 2 0 2 7 8 1 2 0 2 7 8 1 2 0 2 7 8 1 2 0 2 7 8 1 2 0 2 7 8 1 2 0 2 7 8 1 2 0 2 7 8 1 2 0 2 7 8 7 7 8 7 8 7 8 7 7 8 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 7 8 7 7 8 7 8 7 7 7 8 7 7 7 8 7 7 7 7 8 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ELSEC-Q(マル 9 D C 6 A 8 Back BM先題	€)/QE->∋>	PC局番: 0	OK キャンセル 説印月 【種写!】 WORD 【種写!】 デジイス: 0-32767

6. MELSECNET/H 接続

(1) システム構成

光ループシステム



*1 MELSECNET/H ネットワークユニット側のシステム構成については、マニュアルを参照してください。

*2 光ファイバケーブルについては、マニュアルを参照してください。

*3 総延長距離および局間距離は、使用するケーブルの種類、総局数などにより異なります。

詳細については,マニュアルを参照してください。







MELSECNE/H インターフェース (背面)



(3)GOT 側の設定

〇通信インタフェースを設定する(接続機器の設定)

1. [共通の設定]→[接続機器の設定]メニューを選択します。

システム		Ψ×
🗆 💾 接続	続機器の設定	~
	CH1:MELSEC-Q(マルチ)/Qモーション	
	CH2:未接続	
	CH3:未接続	
	CH4:未接続	
	ネットワーク/二重化設定	
	📙 Ethernet	
	譻 ルーチング情報	
.	异 ゲートウェイ	_
	🚽 🤣 通信設定	
	FTP FTP	~
応 プロジェ!	クト 😡 システム 🕞 画面	



2. 接続機器の設定ウィンドウが表示されるので、使用するチャンネルをリストメニューから選択します。

- 3. 下記を選択します。
- ・メーカ∶三菱電機

・機種:接続する機種にあわせて設定してください。

· I/F: 使用するインタフェース

・ドライバ:

GT15-J61BT13 形CC-Link 通信ユニット を使用する場合

• CC-Link Ver2 (ID)

GT15-75J61BT13-Z 形CC-Link 通信ユニ

ット

を使用する場合

• CC-Link(ID)

4.メーカ, 機種, I/F, ドライバを設定すると詳細設定が表示されます。 使用する環境に合わせて設定してください。

設定が完了したら"OK"ボタンをクリックします。



O接続機器詳細設定

使用する環境に合わせて設定してください。

局番 1 伝送速度設定 0.オンライン:156kbps モード設定 Ver.1 拡張サイクリック設定 1倍 占有局数 1局占有 奥常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(Mps) 0	プロパティ	値
伝送速度設定0.オンライン156kbpsモード設定Ver.1拡張サイクリック設定1倍占有局数1局占有男常時のクリア設定クリアリトライ回数(回)3通信タイムアウト時間(か)3送信ディレイ時間(ms)0	局番	1
モード設定 Ver.1 拡張サイクリック設定 1倍 占有局数 1局占有 異常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(か) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	伝送速度設定	0:オンライン:156kbps
拡張サイクリック設定 1倍 占有局数 1局占有 異常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(秒) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	モード設定	Ver.1
占有局数 1局占有 異常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(か) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	拡張サイクリック設定	1倍
異常時のクリア設定 クリア リトライ回数(回) 3 通信タイムアウト時間(秒) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	占有局数	1局占有
<u>リトライ回数(回) 3</u> 通信タイムアウト時間(秒) 3 送信ディレイ時間(ms) 0	異常時のクリア設定	クリア
<mark>通信タイムアウト時間(秒)</mark> 3 送信ディレイ時間(ms)0	リトライ回数回)	3
送信ディレイ時間(ms) 0	通信タイムアウト時間(秒)	3
	送信ディレイ時間(ms)	0

項目	内容	範囲
局番	GOT の局番を設定します。 (デフォルト :1)	1~64
伝送速度設定 *1	GOT の伝送速度とモードを設定 します。 (デフォルト :0)	0~E
モード設定	CC-Link のモードを設定します。 (デフォルト :Ver.1)	Ver.1/Ver.2/ 追加 / オフライン
拡張サイク リック設定	サイクリック点数拡張を設定しま す。 (デフォルト :1 倍)	1 倍 /2 倍 / 4 倍 /8 倍
占有局数	GOT の占有局数を設定します。 (デフォルト :1 局)	1局占有/4局占有
異常時の クリア設定	異常時にクリアする / 保持するを 設定します。 (デフォルト: クリア)	クリア / 保持
リトライ回数	通信がタイムアウトしたときのリ トライ回数を設定します。 リトライ後も、応答がない場合は 通信タイムアウトになります。 (デフォルト:3回)	0~50
通信タイムア ウト時間	通信がタイムアウトになるまでの 時間を設定します。 (デフォルト:3秒)	3~90秒
送信ディレイ 時間	ネットワーク / 接続先シーケンサ の負荷を下げるための、送信ディ レイ時間を設定します。 (デフォルト: (ms))	0~300(ms)

に示

*1 伝送速度設定

CC-Link 通信の伝送速度の設定内容を以下 します。

設定値	内容	通信タイムア ウト時間	通信がタイムアで 時間を設定します (デフォルト:3 利
0	オンライン:156kbps		ネットワーク / 持
1	オンライン:625kbps	送信ティレイ 時間	の貝何を下ける7 レイ時間を設定し
2	オンライン :2.5Mbps		(デフォルト :Om
3	オンライン :5Mbps		
4	オンライン:10Mbps		
А	ハードウェアテスト :156kbps	S	
В	ハードウェアテスト :625kbp:	S	
С	ハードウェアテスト :2.5Mbps	5	
D	ハードウェアテスト :5Mbps		
E	ハードウェアテスト:10Mbps		

(4) PLC 側の設定

下記に示すシステム構成時の、GOT とCC-Linkユニット(Ver2)の設定を説明します。



CC-Link ユニットの先頭1/0 No. は, "0"に設定されています。

OCC-Linkユニット(Qシリーズ)のスイッチ設定

局番設定スイッチ、伝送速度・モード設定スイッチを設定してください。

QJ61BT11N

・局番設定スイッチ



*1 GOT と同じ伝送速度を設定してください。

\ensuremath{OGX} Developer	の[ネットワークパラメ-
(1) ネットワー	クパラメータ

※スイッチ設定を変更した場合 PLCCPU の電源OFF \rightarrow ON またはPLCCPU のリセット 操作を行ってください。

■ ネットワークパラメータ CCーLink 一覧設定							
ユニット枚数 1 💌 枚 ブランク	: 設定なし						
	1						
先頭I/ONo	0000						
動作設定	動作設定						
種別	२२१%局 👻						
データリンク種別	マスタ局CPUパラメータ自動起動 👤						
モード設定	リモートネットーVer.2モード 🗸						
総接続台数	1						
リモート入力(RX0リフレッシュデハバイス	×400						
リモート出力(RY)リフレッシュデハバイス	Y400						
リモートレジスタ(RWr)リフレッシュデバイス	D300						
リモートレシュスタ(RWW)リフレッシュデバイス	D200						
Ver.2リモート入力(RX)リフレッシュデバイス							
Ver.2リモート出力(RY)リフレッシュデバイス							
Ver.29モートレジ゙スタ(RWr)リフレッシュテ゛バイス							
Ver.29モートレジ、スタ(RWw)リフレッシュテ、ハ、イス							
特殊リレー(SB)リフレッシュデバイス	SB0						
特殊レジスタ(SW)リフレッシュデバイス	SWO						
リトライ回数	3						
自動復列台数	1						
待機?スタ局番号							
CPUかりが指定	停止						
スキャンモート・指定	非同期						
デル時間設定	0						
局情報設定	局情報						
リモートディバイス局イニシャル設定	仁洲設定						
割込み設定	割込み設定						

	項目	設定値			
			の設定要否		
	ユニット枚数	1	0		
	先頭 I/O No. ^{*1}	0000н	0		
	動作設定	(デフォルト <mark>値</mark> を使用)	\bigtriangleup		
	種別	マスタ局(固定)	0		
	モード設定	リモートネット - Ver.2 モード	0		
	総接続台数	1	0		
	リモート入力 (RX) リフレッシュデバイス	X400	\bigtriangleup	:	必覀
	リモート出力 (RY) リフレッシュデバイス	Y400	\bigtriangleup	Δ	安:
	リモートレジスタ (RWr) リフレッシュデバイス	D300	\bigtriangleup	必要	に
	リモートレジスタ (RWw) リフレッシュデバイス	D200		応じ	τ
	特殊リレー (SB) リフレッシュデパイス	SB0		設	定
	特殊レジスタ (SW) リフレッシュデパイス	SWO	\bigtriangleup	× 不要	•
	リトライ回数		\bigtriangleup		
	自動復列台数		\bigtriangleup		
	待機マスタ局番号		×		
	CPU ダウン指定	(テノオルト個を使用)	\bigtriangleup		
1	スキャンモード指定		\bigtriangleup		
1	ディレイ時間設定		\triangle		
	局情報設定	(b) 参照	0		
	リモートデバイス局 イニシャル設定	(デフォルト値を使用)	×		
	割込み設定		×		

(2)局情報

GG-Link 局	情報 ユニット 1												×
合数/局番	局租制		拡張サイクリ 設定	95	占有局数	FU 委点	局 2	予約/無久 指定	15	インデリション 送信	▶用∧597才 受信	<u>についく</u>	
1/1	Ver24)79973017	%イス辰 ←	1倍設定	- ⊐λ	局占有 -	22点		設定なし	-	64	64	128 -]
1	17.23ME		5279		80	終了		和初	ı				

項 目 ^{*1}	設定値	GOT 接続時 の設定要否
局種別	Ver.2 インテリジェント デバイス局 (固定)	0
拡張サイクリック設定 ^{*2}	1 倍設定	0
占有局数 *2	1局占有	0
リモート局点数	32 点 (固定)	0
予約 / 無効局指定	設定なし	0
インテリジェント用 パッファ指定(ワード)	(デフォルト値を使用)	×

O: 必要 Δ : 必要に応じて設定 × : 不要

*1 CC-Link ユニットの[モード設定]が[リモートネット-Ver.2 モード]の場合は, [リモート局 点数]が設定可能になります。

[リモート局点数]は、リモートI/0 局用の設定です。
 GOT は、デフォルト値(32 点)を使用してください。
 *2 GOT と同じ設定としてください。

※ネットワークパラメータを変更した場合 ネットワークパラメータをPLCCPU に書込み後, PLCCPU の電源OFF → ON またはPLCCPU のリセット操作を行ってください。 (3) 占有局数について

占有局数は, GOTが使用するリンクデバイス(RX/RY/RWw/RWr)の点数を決めるための設定です。 GOTとCC-Linkユニット間のサイクリック伝送で、リンクデバイスの点数を多く使用したい場合は、占 有局数を4 局占有に設定してください。

1 局占有および4 局占有時のリンクデバイスの点数を下記に示します。

	CC-	Link	ver2
--	-----	------	------

	拡張サイクリック設定										
リンク	1倍	設定	2倍	設定	4倍	設定	8倍	設定			
デバイス	1 局 占有	4 局 占有	1 局 占有	4 局 占有	1 局 占有	4 局 占有	1 局 占有	4 局 占有			
リモート 入力(RX)	32 点	128 点	32 点	224 点	64 点	448 点	128 点	896 点			
リモート 出力 (RY)	32 点	128 点	32 点	224 点	64 点	448 点	128 点	896 点			
リモート レジスタ (RWw)	4 点	4点 16点		32 点	16点	64 点	32 点	128 点			
リモート レジスタ (RWr)	4点	16点	8点	32 点	16点	64 点	32 点	128 点			

CC-Link ver1

いいたごがくつ	占有局数					
リンクテハイス	1 局占有	4局占有				
リモート入力 (RX)	32 点	128 点				
リモート出力 (RY)	32 点	128 点				
リモートレジスタ (RWw)	4 点	16 点				
リモートレジスタ (RWr)	4 点	16 点				

〇マスタユニットに対する入出力信号

GOT の入出力信号の割付けを下記に示します。

入出力信号は,設定する占有局数(1 局/ 4 局)により異なります。 表中のn は局番設定によりマスタユニットに割り付けられたアドレスです。

信号方向:GOT→マスタユニット										
	デバイス No.									
	拡張サイクリ	Jック設定 * ¹		信日女社						
1 倍	設定	2倍	設定	信亏省称						
1 局占有	4局占有	1 局占有	4局占有							
RXn0 ~ RXnF	RXn0 ~RX(n+6)F	RXn0 ~ RXnF	$RXn0 \sim RX(n+C)F$	ユーザエリア						
$RX(n+1)0 \sim RX(n+1)A$	RX(n+7)0 ~RX(n+7)A	RX(n+1)0 ~RX(n+1)A	$RX(n+D)0 \sim RX(n+D)A$	使用禁止						
RX(n+1)B	RX(n+7)B	RX(n+1)B	RX(n+D)B	リモート READY フラグ * ²						
$RX(n+1)C \sim RX(n+1)F$	RX(n+7)C ~RX(n+7)F	RX(n+1)C ~RX(n+1)F	RX(n+D)C ~RX(n+D)F	使用禁止						

	信号方向:GOT →マスタユニット										
	デバイス No.										
	拡張サイクリ	ノック設定 * ¹		信日女社							
4 倍	設定	8倍	設定	信专省协							
1 局占有	4 局占有	1 局占有	4 局占有								
$RXn0 \sim RX(n+2)F$	RXn0 ~RX(n+1A)F	$RXn0 \sim RX(n+6)F$	$RXn0 \sim RX(n+36)F$	ユーザエリア							
RX(n+3)0 ~RX(n+3)A	$RX(n+1B)0 \sim RX(n+1B)A$	RX(n+7)0 ~RX(n+7)A	RX(n+37)0 ~RX(n+37)A	使用禁止							
RX(n+3)B	RX(n+1B)B	RX(n+7)B	RX(n+37)B	リモート READY フラグ* ²							
RX(n+3)C ~ RX(n+3)F	RX(n+1B)C ~RX(n+1B)F	RX(n+7)C ~RX(n+7)F	RX(n+37)C ~RX(n+37)F	使用禁止							

信号方向:マスタユニット→ GOT										
	デバイス No.									
	拡張サイクリック設定 * ¹									
1 倍	設定	2倍	16 专 名 称							
1 局占有	4 局占有	1 局占有	4 局占有							
RYn0 \sim RYnF	$RYn0 \sim RY(n+6)F$	RYn0 ~ RYnF	$RYn0 \sim RY(n+C)F$	ユーザエリア						
$RY(n+1)0 \sim RY(n+1)F$	RY(n+7)0 ~RY(n+7)F	$RY(n+1)0 \sim RY(n+1)F$	$RY(n+D)0 \sim RY(n+D)F$	使用禁止						

信号方向:マスタユニット→GOT										
	デバイス No.									
	拡張サイクリ	ノック設定 * ¹		年日 夕北						
4 倍	設定	8 倍設定								
1 局占有	4 局占有	1 局占有	4 局占有							
RYn0~ RY(n+2)F	RYn0~ RY(n+1A)F	RYn0~ RY(n+6)F	RYn0~ RY(n+36)F	ユーザエリア						
RY(n+3)0 ~ RY(n+3)F	$RY(n+1B)0 \sim RY(n+1B)F$	RY(n+7)0 ~RY(n+7)F	RY(n+37)0 ~RY(n+37)F	使用禁止						

* 1 CC-Link のモード設定がVer.1 の場合, 拡張サイクリック設定はできません。 (1 倍設定に固定 です)

* 2 リモートREADY フラグは、GOT 電源投入時、ハードウェアリセット時、GOT が動作可能な状態に なったときON します。

GOT の電源が投入されていても,オフライン操作時(OS インストール中,画面データダウンロード中), イニシャル処理実行中はOFF します。

CC-Link のマスタ局からの書込み/読出し時のインタロック回路用に使用してください。

Oリモートレジスタの割付け

GOT のリモートレジスタの割付けを下記に示します。 リモートレジスタは、設定する占有局数(1 局/4 局)により異なります。 全エリアがユーザ領域となります。 表中のm,n は局番設定によりマスタユニットに割り付けられたアドレスです。

アドレス 拡張サイクリック設定 *³ デフォルト 値 授受方向 内 容 1 倍設定 2 倍設定 1 局占有 4局占有 1 局占有 4局占有 マスタ局 ユーザ書込 RWwm~ RWwm~ RWwm~ RWwm~ 0 RWwm+3 RWwm+F RWwm+7 RWwm+1F みエリア GOT GOT ユーザ読出 RWrn~ RWrn~ RWrn~ RWrn~ 0 Ŧ しエリア RWrn+3 RWrn+F RWrn+7 RWrn+1F マスタ局

		アド					
按照十合		拡張サイクリ			ಹಾ	デフォルト	
按文力问	4倍	設定	8倍		Ŧ	値	
	1 局占有	4 局占有	1 局占有	4 局占有			
マス夕局 ↓ GOT	${ m RWwm} \sim { m RWwm+F}$	RWwm ~ RWwm+3F	${ m RWwm} \sim { m RWwm+1F}$	${ m RWwm}\sim { m RWwm+7F}$	ユーサ みエリ	『書込 ア	0
GOT ↓ マス夕局	RWrn ~ RWrn+F	RWrn ~ RWrn+3F	RWrn ~ RWrn+1F	RWrn ~ RWrn+7F	ユーサ レエリ	げ読出 ア	0

* 3 CC-Link のモード設定がVer.1 の場合, 拡張サイクリック設定はできません。 (1 倍設定に固定です)

設定例 (システム構成)



PLC 側

C 2015 (1015): 1015(1015): 1005(1015): 1005(1015): 1005(1015): 1005(1005	ネットワークパラメータ選択 🛛 🗙
	Ethernet/CC IE/MELSECNET
	MELSECNET / MINI
	CC-Link
	<u></u>

	22.51	
ネットワーク種別	MNET/Hモード(管理局)	-
先頭I/O No.		0000
ネットワークNo.		1
総(子)局数		2
ケ [*] ルーフ [*] No.		0
局番		
₹∽卜°	わらわ	
	あわり 前囲割付	
	リフレッシュパ°ラメータ	
	割込み設定	
	管理局として復列する	-
•		

	共通パラメータ、局固有パラメータを設定します															
	-割付方法 〇 点数/先	頭	f	監視時間	1	200	× 1	Oms -	ハペラメータン	名称				_		
	● 先頭/最	쌺	J y	りり総子。	局数	2		i	画面切替	Š.	LB/L	W設定	•	-		
I		各	局送信剿	Έ	各	局送信筆	囲	各	局送信筆	ΈĦ	各	局送信軍	Έ		T	
	局No		LB			LW			低速LB			低速LW		ላ°ፖሃጋታ፣		
		点数	先頭	最終	人人	先頭	最終	点数	先頭	最終	人人	先頭	最終			Ī
	1	512	0000	01FF	256	0000	00FF							ペア!こしない 🗖	-	
	2	512	0200	03FF	256	0100	01FF							^°別こしない -		,

タッチパネル側

■ 接続機器の設定					
 接続機器の設定 OH 1: MELSEO-Q(マルチ) OH 2: MELSEO-QnA/Q/ OH 3: 未接続 OH 4: 未接続 OH 4: 未接続 OH 4: 未接続 CH 5: 大市大の工 CH 5: 大市・トウェイ CH 5: 大市・トウェイ CH 5: 大市・トウェイリーバ CH 5: 大市・トウェイ CH 5: 大市・トウェー CH 5: 大市・トウェー	メーカ(M): 機種(E): レ/F Φ: ドライバ(D): 詳細設定	三菱電機 MELSEC-Q(マルチ 拡張レ/F-1(1段目) MELSECNET/H)/Qモーション (値	 	
→ ↓ → ↓ FTPサーバ FTPサーバ ファイル転送(FTP- → 電 Q二重化 → 電 局番切り換え	ネットワーク ネットワーク 局番 グループ№ モード設定 リトライロ関 通信タイム 送信ディレ リフレッシュ 伝送速度・	種別 No. シ (加) (加) (アウト時間(秋) イ時間(ms) 間隔(回) (Mbps)	NET/Hモード MNET/Hモード 1 2 0 オンライン自動復列有り 3 3 0 1 1 10		
			ОК) キャンセル (適用(<u>A</u>)





[実践的FAQ125 通信状態の確認]

LED 等で通信状態の確認をすることはできないか?

通信状態の確認はできます。タッチパネル側、PLC 側の LED にて確認してください。

〇タッチパネル側



OPLC 側

マスタ局の LED 表示が、下記の LED 表示状態になっていることを確認してください。



SD420:スキャンカウンタ

◆内容 1スキャンごとのカウント数

◆内容詳細(1) CPU ユニット RUN 後,スキャン実行タイププログラムの1スキャンごとに+1 する。 (初期実行タイププログラムのスキャンではカウントされない。)

(2)カウントは 0 → 32767 → -32768 → 0 を繰り返す。





ピットランプ		×
<u>基本設定</u> デ <u>11412/234/14・6</u> ランプ種類()・0 E22 デリンイス(0) B0000 OFF 0000 ON 000000000000000000000000000000000000	F4総定 / /	※送信エリアは B0~B1FF (B200~B3FF は受信 エリアとなるので注意 すること)
数値表示 基本設定 / デバイス/2々/ル* 種類 <u>③数</u> デバイス(<u>0</u>): [W0000		該定 条件 / 演算/スクリプト 形式(④): 符号付きBDN16 ▼
 表示形式(表示形式(E): 数値サイズ(Z): 表示桁数(Q): 小動桁数(Q): 書式文字列(Q): 図形設定(通常) 図形(Q): 	符号付き10進数 ▼ 72 2 ▼ × 2 ▼ 様 × 総0 ■ 6 ♥ □ 0を付加する(0) 0 ♥ □ 小表析説自動調整(たはし	 ※送信エリアは W0~WFF (W100~W1FF は受信 エリアとなるので注意 すること)
<u></u> 数値色(Q):	▼ □反転表示 ©) なし ▼	123456 <u>₩(@ ())</u> 123456 С ОК * *>セル

[実践的FAQ126 デバイスデータ転送]

W100

<u>画面切り替えデバイスを "W100"に設定(2局エリア内:タッチパネル領域)。PLCから、画面の切り</u> <u>替えをおこなうことは可能か?</u>

W100 は 2 局エリア内なので、1 局は情報を見ることはできるが、書き換えることはできないため、画面切り替えをおこなうことはできない。

 」直接はできない

下記の設定(デバイスデータ転送)をすることにより、可能になります。



※B10 が立ち上がると
 W10 の値を、W100 に転送する
 (W10 の数値は、PLC プログラムにて作成してください)

バイスデータ転送			×			
デバイスデータ転送ID(D): 1 デバイスデータ転送名称(F): [
~デバイスデータ転送トリガー						
トリガ種別(T): 立上り 💙 100	😂 (x100ms)					
外部制御デバイス☆: B0010 ✓ …						
トリガデバイス B0010						
転送元先反転フラグ B0011						
デバイスデータ転送処理中通知信号						
デバイスナージ車がたエフール通知官号						
		OK キャンセル				
バイス = 一夕転送						
/基本 <mark>/ デバイス </mark>						
ブロック数(B): 1		- 🔷 🗙 Im Ez				
No. テハイス形式 <u>「点数</u> 」転送元テハイス 転送先テ	1472 - 825	オフセット				
1 符号付きBIN16 1 W0010 W0100		なし				
		OK ++>>セ	IL I			
SM412 0						(ВО
SM400						
2				[MDV	SD420	WO
X20				-		
5 ├──┤ ├──┬──				-		(B10
				Even		
※上記のような画面切り替えではなく、	、ヒットナハイメ	を指定して、		[wvv	ĸΖ	wite
ワードデバイスに数値を設定する場合	に使用します(P	LC 側はトリガ 🗋				
と数値データを入れておけば上いこと	こたります)					
	- 6 / 6 7 0/					
			1			

[実践的FAQ127 MELSECNET/Hの他局指定]

CC-Link 同様、MELSECNET/H でも他局指定は可能か?

MELSECNET/H でも、他局指定は可能です。しかし、通信できる送信/受信エリアが大きく、局によって 範囲も変更できるため、他局指定はあまり使われません。通信速度が遅くなる点もあります。